

Pioneer sound.vision.soul



オーディオブック

AVIC-XH900/H900

7.0型ワイドタッチパネルTV付DVD-V/CD・  
WMA/MP3対応  
HDD ナビゲーションオートサーバーセット

# AVIC-XH900

DVD-V/CD・WMA/MP3対応  
HDD ナビゲーションオートサーバー

# AVIC-H900



carrozzéria

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVICXH900)

音楽ディスク

D V D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## 警告

### [ 使用方法 ]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### [ 異常時の処置 ]

#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する







必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 本書の見かた

## 本書の表記のしかた

表記	意味
 <b>ご注意</b>	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
 <b>メモ</b>	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例： <b>戻る</b> を選ぶ(または <b>戻る</b> にタッチする)
	ナビゲーション本体や各リモコンについているボタンを表します。 例： <b>メニュー</b> を押す
<b>斜体</b>	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： 「MP3について」(P18)
<b>つづく→</b>	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

# 目次

安全のために必ずお守りください	2	ソース画面の表示を切り替える	25
安全上のご注意	3	ソース画面に切り替える	25
本書の見かた	4	音量を調節する	26
ご使用前に知っておいて		音量調節のしかた	26
いただきたいこと	9		
各部の名前とおもな働き	10	<b>テレビ (AVIC-XH900)</b>	
ナビゲーション本体	10	テレビ放送の受信	28
モニター (AVIC-XH900のみ)	11	テレビの放送を受信する	28
リモコン	12	手動選局と自動選局について	29
リモコンの操作モードについて	14	テレビ放送の受信をやめる	29
再生できるディスク(DVD、CD)の種類	15	記憶された放送局の呼び出しかた	29
DVDに表示されている		メモリーの切り替えかた	30
マークの意味	16	プリセットの種類を選ぶ	30
ディスクの操作について	16	プリセット放送局を選ぶ	30
ディスクの構成について	17	いろいろなテレビ操作のしかた	31
DVDビデオ	17	AVメニューを表示する	31
CD	17	ソースメニューについて	31
MP3について	18	ソースメニューでの	
WMAについて	18	いろいろな受信操作	31
ディスクの入れかた・取り出しかた	19	放送局の自動記憶	31
ディスクの入れかた	19	音声多重の切り替え	32
ディスクの取り出しかた	19	リストの切り替え	32
ミュージックサーバーへの録音のご注意	20	放送局の手動記憶	33
		ミュージックサーバーへの録音	33
<b>基本操作</b>		<b>音楽ディスクの再生</b>	
オーディオ基本操作	22	(CD、WMA/MP3)	
基本操作	22	音楽ディスクの再生	36
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	22	再生する	36
AVメニュー操作	22	再生画面について	36
リスト操作	23	早送り/早戻し・ラフサーチについて	38
基本的なリストの操作	23	再生を停止する	38
サブメニューの操作	23	再生を一時停止する	38
チェックリストの操作	23	詳細情報を表示する (MP3)	39
ソースの切り替えかた	24	いろいろな再生操作のしかた	40
ソースの切り替えかた	24	AVメニューを表示する	40
AVIC-XH900	24	ソースメニューについて	40
AVIC-H900	24	ソースメニューでの	
ソースをOFFにする	24	いろいろな再生操作	40
画面の切り替えかた	25		

リPEAT再生	40
ランダム再生	41
スキャン再生	41
サーチモードの切り替え	42
ミックスCD内のデータ形式の切り替え	43
ミュージックサーバーへの録音 (CD)	43

## DVD

DVDの再生	46
リモコンをDVD操作に使うとき	46
再生する	46
DVD再生をやめる	46
再生を停止する	47
静止画再生する	47
観たい場所を探す	47
タイトルを進める / 戻す	47
チャプターを進める / 戻す	47
早送り / 早戻しをする	47
ディスクが自動的に	
再生しないときは	48
ディスクの再生操作について	48
操作タッチキーの表示と消しかた	48
ディスクメニューの操作	49
ディスクメニューの表示	49
ディスクメニューの操作	49
操作タッチキーで	
観たい場所を探す	49
チャプターを進める / 戻す	50
早送り / 早戻しをする	50
操作タッチキーで	
再生を停止する	50
観たい場面をダイレクトに選ぶ	51
操作タッチキーで	
いろいろな操作をする	52
静止画再生	52
コマ送り再生	52
スロー再生	52
ブックマークの記憶	53
字幕言語の切り替え	54
音声言語の切り替え	54
アングルの切り替え	55
ディスクに指定された	
位置まで戻って観る	55
DVDのAVメニューでの操作	56

AVメニューを表示する	56
ソースメニューについて	56
ソースメニューでの	
いろいろな再生操作	56
リPEAT再生	56
音声出力の切り替え	57
DVD初期設定のしかた	58
DVD初期設定メニューを	
表示する	58
初期設定をする	58
字幕言語を設定する	58
音声言語を設定する	59
メニュー言語を設定する	59
アシスト字幕の表示 / 非表示を	
設定する	60
アングル選択マークの	
表示 / 非表示を設定する	60
テレビアスペクト	
(画面の縦横比)を設定する	60
視聴制限を設定する	61
オートプレイを設定する	62

## ミュージックサーバー

ミュージックサーバーとは	64
ミュージックサーバーに録音する	65
録音についてのご注意	65
CD録音の制限について	65
すべてのモード	65
オート / シングルモード	65
CD録音の設定	66
録音設定画面を表示する	66
CDの録音モードを設定する	66
録音時間を設定する	
(AVIC-XH900)	66
CD再生時に自動的に録音する	67
CDを手動で録音する	67
CDの1曲目だけを	
自動的に録音する	67
CD以外のソースを録音する	
(AVIC-XH900)	68
録音を停止するには	68
ミュージックサーバーの聴きかた	69
グループ、プレイリスト、	
トラックについて	69

再生する	69	プレイリストを作成する	87
早送り/早戻しについて	70	カスタマイズグループに	
再生を停止する	71	プレイリストを作成する	89
再生を一時停止する	71	各リストを編集する	90
詳細情報を表示する	71	グループリストを編集する	90
いろいろな再生操作のしかた	72	グループリストの	
AVメニューを表示する	72	詳細情報画面を表示する	90
ソースメニューについて	72	カスタマイズグループの	
ソースメニューでの		名称、よみを変更する	90
いろいろな再生操作	72	カスタマイズグループに	
リピート再生	72	プレイリストを追加する	91
ランダム再生	73	カスタマイズグループを	
ダイジェストスキャン再生	74	初期化する	91
ヒットチャートプレイ	75	プレイリストを編集する	92
ヒットチャートとは	75	プレイリスト詳細情報画面を	
ヒットチャートで再生する		表示する	92
(ヒットチャートプレイ)	76	タイトルやよみを変更する	93
ヒットチャートの		アーティスト名を変更する	94
通常操作画面について	77	ジャンルを設定する	94
カウントダウン、		画像を設定する	95
カウントアップで再生する	78	プレイリストの再生順を変更する	96
通常のミュージックサーバー		プレイリストを消去する	97
再生に戻る	78	トラックを編集する	98
最新のヒットチャートを見る	78	トラックの情報を編集する	98
最新チャートをダウンロードする	79	ユーザープレイリストの	
情報画面を見る	79	トラック再生順を変更する	99
リンクを付ける	80	ユーザープレイリストに	
チャート情報を更新する	81	トラックを追加する	100
フィーリングプレイ	82	プレイリストから	
フィーリングプレイとは	82	トラックを消去する	101
フィーリングプレイで再生する	82	タイトル情報について	102
フィーリングプレイの		取得できる情報	102
通常操作画面について	83	GracenoteCDDBについて	103
再生曲が選択した曲調と		タイトル情報を取得する	104
合わないとき	83		
フィーリングプレイの設定	84		
フィーリングプレイ設定画面を			
表示する	84		
フィーリングプレイ対象外設定	84		
学習クリア	85		
各リストを作成する	86		
編集項目選択画面を表示する	86		
グループとプレイリストについて	86		
ユーザーグループに			

## システム設定

システムの設定をする	108
システム設定画面を表示する	108
システム設定画面について	109
ビデオ入力を設定する (AV入力設定)	
(AVIC-XH900)	110
ミュージックサーバーへの	
録音を設定する (録音設定)	110

音声案内が良く聞こえるように する（消音設定）	110
映像系ソースの表示モードを設定する （ワイドモード）（AVIC-XH900）	111
リア画面への出力を設定する （ナビ画面リア映像出力）（AVIC-XH900）	111
ガイド出力を設定する （ガイド出力）（AVIC-XH900）	112
FMトランスミッター（AVIC-XH900）	113
音声をFM付きカーステレオで聞く （FMトランスミッター設定）（AVIC-XH900）	113
FMトランスミッターの レベルを設定する	114

## その他の機能

モニターを設定する（AVIC-XH900）	116
画質の調節	116
黒の濃さやコントラストを調節する	116
色の濃さや色合いを調節する	117
液晶画面の明るさを調節する	117
ワイド画面の拡大方法を 切り替える	118
ワイドモードの種類	120
画面の表示モードを切り替える	121
ピクチャーサイドピクチャーに 変更する	121
ピクチャーインピクチャーに 変更する	121
ビデオなどを見る（AVIC-XH900）	123
ビデオなどの入力を設定する	123
ビデオなどの見かた	124
ミュージックサーバーへの録音	124
バックカメラを使う（AVIC-XH900）	125
入力設定をバックカメラに 切り替える	125
バックカメラの切り替えかた	126
リアモニターを組み合わせた （AVIC-XH900）	127
リアモニターに 表示される映像について	127
リアモニター用リモコンを使う （AVIC-XH900）	128

音声で操作できる機能	129
リビングキットで操作できる機能	130
リビングキットとは	130
再生する	130
情報を取得する	130
録音する	130

## 付録

MP3ファイル、WMAファイルについて	132
フォルダーとMP3および WMAファイルについて	132
MP3とは？	133
再生できるMP3ファイルについて	133
WMAとは？	133
再生できるWMAファイルについて	133
地上デジタルテレビジョン放送について	134
言語コード表	137
DVD用語の解説	138
MP3、WMA用語の解説	139
故障かな？と思ったら	140
共通項目	140
モニター、内蔵スピーカー、 FMトランスミッター、 バックカメラ（AVIC-XH900）	142
テレビ（AVIC-XH900）	143
DVD	143
CD/MP3ディスク	145
WMA/MP3ファイル	145
ミュージックサーバー	146
こんなメッセージが表示されたら	147
共通項目	147
DVD/CD/WMA/MP3ディスク	147
ミュージックサーバー	148
索引	149
メニュー索引	149
用語索引	150
五十音順	150
アルファベット順	151



# ご使用前に知っておいていただきたいこと

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVIC-XH900)

音楽ディスプレイ

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## 安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができません。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、走行中はナビゲーションやオーディオ、画面表示の各種設定・調節は一部できません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例)テレビを見ようとしたとき



## リアモニターについて

### (AVIC-XH900)

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

## 画面が見えにくいときは

### (AVIC-XH900)

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、モニターの角度や見る角度に合わせて黒の濃さを調節してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調節してください。

「モニターを設定する(P116)」

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



•大気環境のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

## 携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面に「はん点」や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

## モニターの液晶画面を保護するために (AVIC-XH900)

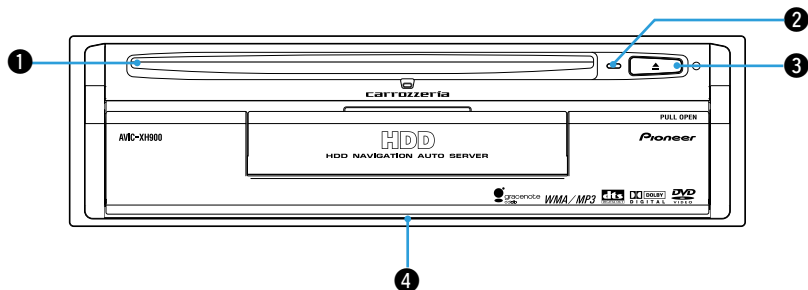
本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障するおそれがあります。

# 各部の名前とおもな働き

車で操作する、ナビゲーション本体、モニター、リモコンのオーディオに関する各部の名称とおもな働きを説明しています。モニターとリモコンで同じ名称のボタンは同じ動作をします。

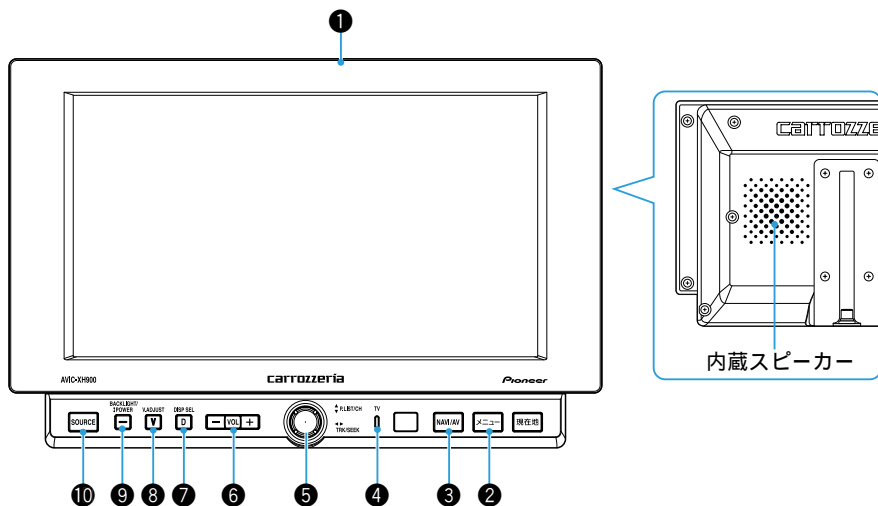
## ナビゲーション本体

(例) AVIC-XH900



- ① ディスク挿入口  
DVDやCDなどを挿入します。
- ② ディスクランプ  
ディスクが挿入されているときに点灯します。
- ③ ディスク取り出しボタン  
CDやDVDなどを取り出します。
- ④ フロントドア

## モニター( AVIC-XH900のみ )



- ① 外光センサー  
周囲の明るさを感知します。
- ② メニューボタン  
表示中のソースのAVメニューを表示します。
- ③ NAVI/AVボタン  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ④ TVランプ  
本機の電源が入っているときに点灯します。
- ⑤ ◀/▶/▲/▼ボタン  
曲の早送りや早戻し、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ⑥ 音量調節ボタン  
音量調節ボタンの+/-で内蔵スピーカーの音量を調節します。
- ⑦ DISP SELボタン  
画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときを使用します。
- ⑧ V.ADJUSTボタン  
画面の画質を調節します。
- ⑨ BACKLIGHT/POWERボタン  
モニターの電源や映像のON/OFFを切り替えます。
- ⑩ SOURCEボタン  
ソースを切り替えるときに使用します。長く押すとソースをOFFにします。

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ディスプレイ

DVD

ミュージック  
サブパーク

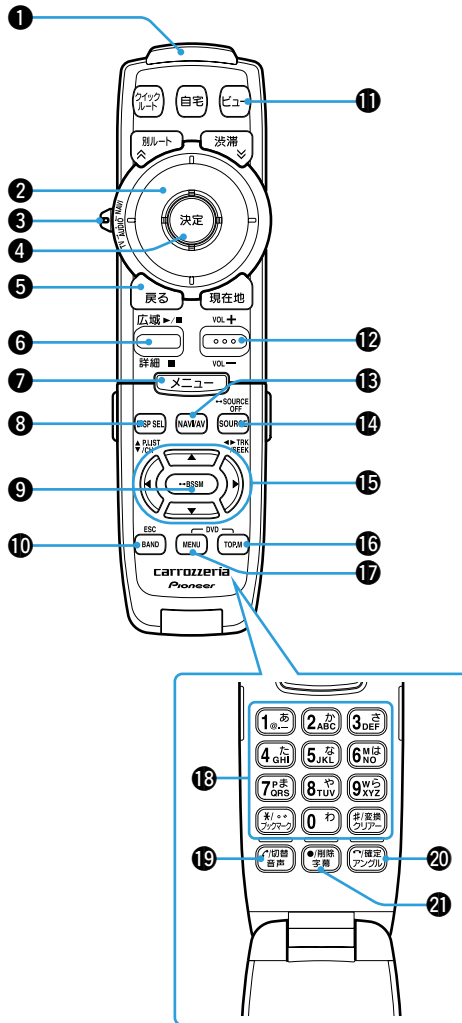
システム設定

その他の機能

付録

# リモコン

(例) AVIC-XH900

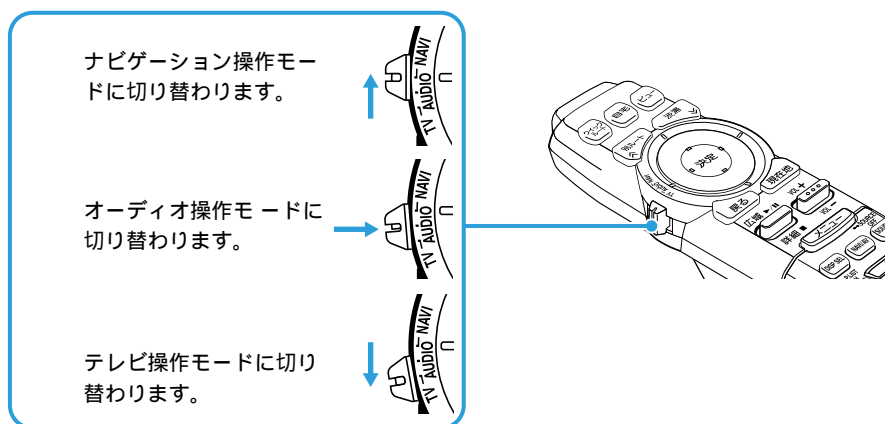


- ① リモコン送信部  
ここからリモコンの信号が送られます。
- ② ユニバーサルパッド  
項目の選択などに使用します。
- ③ 操作モード切替スイッチ  
リモコンで操作するモードを切り換えます。
- ④ 決定ボタン  
項目の決定などに使用します。
- ⑤ 戻るボタン  
一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑥ スケールレバー  
DVD表示中は再生や一時停止、再生停止に使用します。
- ⑦ メニューボタン  
表示中のソースの各AVメニューを表示します。
- ⑧ DISP SELボタン (AVIC-XH900)  
画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときを使用します。  
BACKボタン (AVIC-H900)  
オーディオ操作で一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑨ BSSMボタン (AVIC-XH900)  
テレビの放送局を自動的に記憶します。  
A.MENUボタン (AVIC-H900)  
組み合わせているパイオニア製モニターのメニュー操作をします。
- ⑩ BAND/ESCボタン  
テレビのメモリーなどを切り替えます。
- ⑪ ビューボタン  
ソース画面表示時に、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- ⑫ ボリュームレバー  
ボリュームレバーを+または-に倒し、音量を調節します。
- ⑬ NAVI/AVボタン  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ⑭ SOURCEボタン  
ソースを切り替えるときに使用します。  
長く押しとソースをOFFにします。
- ⑮ ◀/▶/▲/▼ボタン  
曲の早送りや早戻し、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ⑯ TOP.M( DVD )ボタン  
DVDの最上位のメニューを表示します。
- ⑰ MENU( DVD )ボタン  
DVDのディスクメニューを表示します。
- ⑱ 10キー  
文字や数字の入力などに使用します。
- ⑲ オフフック/切替ボタン  
文字種の切り替えに使用します。  
DVD操作時は、音声言語を切り替えることができます。
- ⑳ オンフック/確定ボタン  
入力した文字の確定に使用します。  
DVD操作時は、アングルを切り替えることができます。
- ㉑ 録音/削除ボタン  
現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了したり、入力した文字を削除するときを使用します。  
DVD操作時は、字幕言語を切り替えることができます。

# リモコンの操作モードについて




本機に付属のリモコンでは、操作モードを切り替えることにより、ナビゲーションの操作はもちろん、本機内蔵のオーディオやパイオニア製メインユニットも操作できます。使用目的に応じて、リモコンの左側面にある操作モード切替スイッチを切り替えてください。

詳しくは、『スタートブック』を参照してください。



# 再生できるディスク(DVD、CD)の種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
 	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	12cm/片面 1層	133分
	12cm/片面 2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	12cm/両面 2層	484分
	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	8cm/片面 1層	41分
	8cm/片面 2層	75分
	8cm/両面 1層	82分
	8cm/両面 2層	150分
	CD	74分
	12cm/片面	
	CDシングル	20分
	8cm/片面	

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。



- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されファイナライズされたものに限り再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-TEXTの音楽は再生することはできませんが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CCCD(Copy Control CD)は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外にCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

つづく→

はじめに

基本操作

AVCHD(テレビ)

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

システム設定






その他の機能

付録

- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD( Double Density CD )形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC( パソコン )で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。( 詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。 )

## DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

## ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS は米国Digital Theater System,Incの登録商標です。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。



# ディスクの構成について

## DVDビデオ

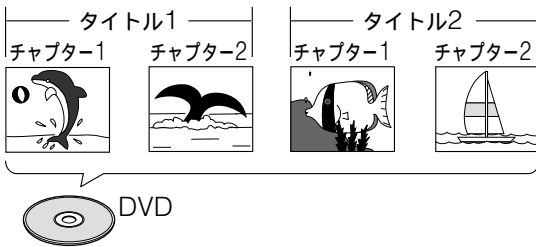
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

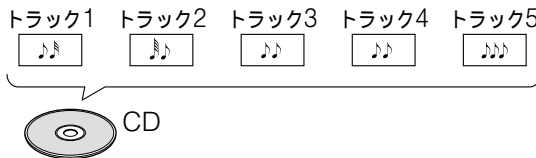


•上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

## CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したりいかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。



- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

## WMAについて

外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。



WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



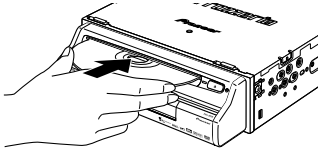
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

# ディスクの入れかた・取り出しかた

## ディスクの入れかた

### 1 指定の挿入口にラベル面を上にしてディスクを差し込む

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。



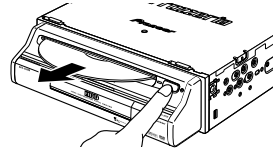
#### ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスクの挿入口には、ディスク以外のものを入れないでください。

## ディスクの取り出しかた

### 1 ディスク取り出しボタンを押す

ディスクが自動的に押し出されます。



- 出てきたDVDやCDはすぐに取り出して保管してください。
- プレインユニットが取り出されている場合は、ディスクを取り出すことはできません。再度プレインユニットを入れディスクを取り出してください。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AV/VIDEO)

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# ミュージックサーバーへの録音のご注意

録音する前に必ずお読みください。

## ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

## 基本操作

<b>オーディオ基本操作</b> .....	22
基本操作.....	22
タッチ操作とリモコン操作の違いについて.....	22
AVメニュー操作.....	22
リスト操作.....	23
基本的なリストの操作.....	23
サブメニューの操作.....	23
チェックリストの操作.....	23
<b>ソースの切り替えかた</b> .....	24
ソースの切り替えかた .....	24
AVIC-XH900 .....	24
AVIC-H900 .....	24
ソースをOFFにする .....	24
<b>画面の切り替えかた</b> .....	25
ソース画面の表示を切り替える .....	25
ソース画面に切り替える .....	25
<b>音量を調節する</b> .....	26
音量調節のしかた .....	26

# オーディオ基本操作

## 基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。(タッチパネルタイプのモニターを組み合わせしていない場合は、リモコン操作のみとなります。)

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー(項目など)にタッチします。リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上/下/左/右に触れることで操作し、画面上のタッチキー(項目など)を選んで(決定)を押します。



- 本書では、タッチキーまたはリモコンでの操作を説明する場合、「～を選ぶ」と表記しています。
- 同様でない場合や、独自の操作である場合は、「～にタッチする」や「(決定)を押す」などのように表記しています。また同様の操作であっても、説明上わかりやすくするために、タッチキーでの操作を記載し、リモコンでの操作をメモ中(メモ)に記載している箇所もあります。
- AVIC-H900とAVH-P9DVAまたは他社モニターと組み合わせた場合、タッチパネルで操作することはできません。

## タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、銀色で表示されているボタンはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

タッチキー : リモコンボタン

	:
	:
	: ユニバーサルパッド右
	: ユニバーサルパッド左
	: ユニバーサルパッド上/下
	:

## AVメニュー操作

AVメニューとは、オーディオや映像に関する設定や操作を行うためのメニューです。AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。

### 1 メニューを押す

ソース画面 ( P29)が表示されている状態で を押してください。

### 2 項目を選ぶ



選んだ項目を実行する画面が表示されます。

### 3 メニューを閉じる場合は、戻る にタッチするか、リモコンの メニュー または 戻る を押します。

## リスト操作

通常再生中の画面などにタイトルのリストが表示されます。全リスト項目が画面上に表示しきれない場合は、1行、ページ送りボタンが表示されます。

### 基本的なリストの操作



#### 1行送り

リストを上下に1行移動します。

タッチ操作 : **▲ ▼** にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを上/下に操作する

#### ページ送り

一画面ずつ移動します。

タッチ操作 : **◀ ▶** にタッチする

リモコン操作 : **別ルート** **決断** を押す

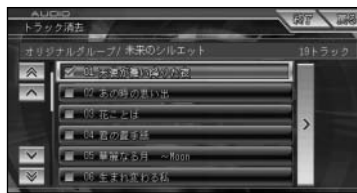
#### タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タッチ操作 : **グループリスト** にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを左/右に操作する

## サブメニューの操作



### サブメニュー

**>** が表示されているときは、サブメニューを表示できます。サブメニューでは、リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

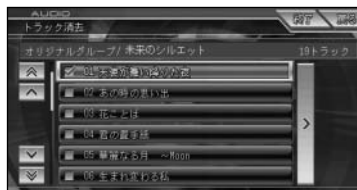
タッチ操作 : **>** にタッチする

リモコン操作 : ユニバーサルパッドを右に操作する



•サブメニューを閉じるには、**<** にタッチするかユニバーサルパッドを左に操作します。

## チェックリストの操作



チェックリストでは、項目を選ぶと「」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶと「」が消え、選択が解除されます。

またチェックリストでは、サブメニューを表示できるものがあり、サブメニューから**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

# ソースの切り替えかた

CDやミュージックサーバーなどの音源、およびDVD、VTR(ビデオなど)の映像をソースと呼びます。

ソースを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

## ソースの切り替えかた



- 接続していないソースには切り替わりません。
- ディスクがセットされていないソースには切り替わりません。
- 非再生ディスクが挿入された場合は[再生できません。ディスクを取り出してください。]と表示されます。

## AVIC-XH900

### 1 SOURCEを押す

[SOURCE]を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・WMA/MP3 ミュージックサーバー テレビ VTR1 VTR2  
DVD・CD・WMA/MP3に戻る



- AV入力設定( P123 )でVTR1をONまたはVTR2をONにしないと、VTR1またはVTR2に切り替わりません。
- VTR2をバックカメラとして使用している場合は、VTR2には切り替わりません。

## AVIC-H900

### AVX-P9DV/AVX-P7と組み合わせた場合

### 1 ナビゲーションユニットのソース1またはソース2に切り替える

AVX-P9DV/AVX-P7の『取扱説明書』



- ナビゲーションユニットのソース1がDVD・CD・WMA/MP3で、ソース2がミュージックサーバーになります。

### AVH-P9DVAと組み合わせた場合

### 1 ナビゲーションユニットに切り替える

AVH-P9DVAの『取扱説明書』

### 2 SOURCEを押す

[SOURCE]を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・WMA/MP3 ミュージックサーバー

### 他社モニターと組み合わせた場合

### 1 SOURCEを押す

[SOURCE]を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・WMA/MP3 ミュージックサーバー

## ソースをOFFにする

### 1 SOURCEを長く押す

ソースがOFFになります。

もう一度[SOURCE]を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。



- AVIC-H900とAVX-P9DVまたはAVX-P7を組み合わせた場合は、AVX-P9DV/AVX-P7側でソースをOFFすることもできます。
- AVIC-H900とAVH-P9DVAを組み合わせた場合は、AVH-P9DVA側のソースをOFFにしても、本機のソースはOFFになりません。本機のソースをOFFにするには、[SOURCE]を長く押してください。



# 画面の切り替えかた

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

システム設定

その他の機能

付録

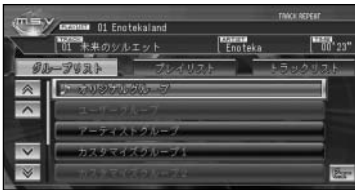
## ソース画面の表示を切り替える

画面のリストを消してソースプレートのみ  
の表示にしたり、ソースプレートも消して  
画面右下にタイトルまたは放送局名など  
のみの表示にすることができます。

### 1 ビューを選ぶか、**ビュー**を押す

選ぶごとに画面表示が以下のように切り  
替わります。

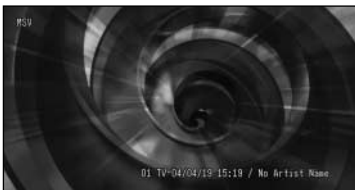
通常画面



ソースプレートのみ画面例



タイトルなどのみの画面例



通常画面



- 画面にタッチすると、通常画面に戻す  
ことができます。

- DVD、テレビ (AVIC-XH900) は、画  
面タッチ、**決定**、**ビュー** を押して映像画面  
から通常操作画面や操作タッチキーを表  
示させることができます。映像画面に戻  
す場合は **ビュー** または **ビュー** を押しま  
す。ただしテレビの通常操作画面は約8  
秒で映像画面に戻ります。

- VTR (AVIC-XH900) は画面タッチ、  
**決定**、**ビュー** を押してソースプレートを  
約8秒間表示させることができます。映  
像画面に戻す場合は **ビュー** または  
**ビュー** を押します。

## ソース画面に切り替える

ナビゲーション画面からソース画面  
(テレビ、VTR、DVD、CD・WMA/MP3  
ディスク、ミュージックサーバーなど)  
に切り替えます。

### 1 **NAV/AV** を押す

**NAV/AV** を押すごとに、以下のように映像が  
切り替わります。

ナビゲーション画面    ソース画面



- AVIC-H900とAVX-P9DVまたは  
AVX-P7を組み合わせた場合は、  
AVX-P9DV/AVX-P7側のV.ADJボ  
タンで切り替えることもできます。
- AVIC-H900とAVX-P9DVまたは  
AVX-P7、AVH-P9DVAを組み合わ  
せた場合は、AVX-P9DV/AVX-  
P7/AVH-P9DVA側のソース時は  
AVX-P9DV/AVX-P7/AVH-P9DVA  
側のソース画面、本機のソース時は本  
機のソース画面に切り替わります。

# 音量を調節する

音量調節ボタン(AVIC-XH900)は、内蔵スピーカーの音量を調節します。ボリュームレバーは、組み合わせている製品や、操作モード切替スイッチにより色々な音量を調節できます。

詳しくは『スタートブック』を参照してください。

## ご注意

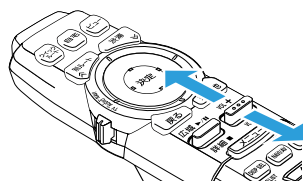
車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。



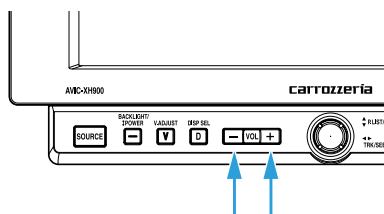
- AVIC-XH900は0～30の範囲で調節できます。
- ボリューム調節画面は、約4秒間表示されます。

## 音量調節のしかた

### 1 ボリュームレバーまたは音量調節ボタンで音量を調節する



ボリュームレバー



音量調節ボタン (AVIC-XH900)

[ + ]: 音量を大きくするとき

[ - ]: 音量を小さくするとき

# テレビ(AVIC-XH900)

ここではいろいろなテレビの受信方法や  
操作方法を説明します。  
(AVIC-H900はテレビを搭載していません。)

<b>テレビ放送の受信</b> .....	28
テレビの放送を受信する .....	28
手動選局と自動選局について .....	29
テレビ放送の受信をやめる .....	29
記憶された放送局の呼び出しかた .....	29
メモリーの切り替えかた .....	30
プリセットの種類を選ぶ .....	30
プリセット放送局を選ぶ .....	30
<b>いろいろなテレビ操作のしかた</b> .....	31
AVメニューを表示する .....	31
ソースメニューについて .....	31
ソースメニューでのいろいろな受信操作 .....	31
放送局の自動記憶 .....	31
音声多重の切り替え .....	32
リストの切り替え .....	32
放送局の手動記憶 .....	33
ミュージックサーバーへの録音 .....	33

# テレビ放送の受信

## テレビの放送を受信する

### ご注意

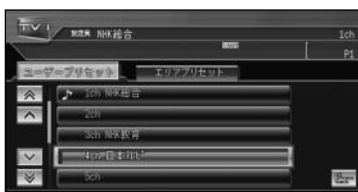
- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターでテレビ映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、テレビ映像は表示されません。

## 1 SOURCE を押して、ソースを切り替える

通常操作画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- テレビの通常操作画面は約8秒で消えます。もう一度通常操作画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをテレビにした場合は、音声のみ切り替わります( P25)。[NAV/AV] を押すとそれぞれのソースの通常画面になります。



## 2 リストの中の受信したい放送局を選ぶ

### リストから直接選ぶ場合：

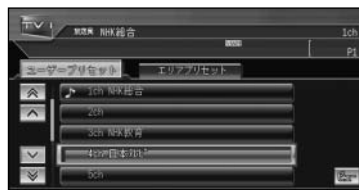
- 聞きたい放送局にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す( P22)

### リモコンまたはモニターで選ぶ場合：

▲：次の放送局を選ぶとき

▼：前の放送局を選ぶとき

選んだ放送局を受信します。



- プリセットのメモリー( P29)を切り替えたい場合は[BAND/ESC]を押します。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、テレビの音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささぎられやすい場所、電波の弱い地域では、感度が悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、放送局を選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)
- 放送局は、テレビ(TV1、TV2)にそれぞれ12局まで、記憶(プリセット)させることができます。放送局の切り替えなどの操作は、「記憶された放送局の呼び出しかた」( P29)を参照してください。

## 手動選局と自動選局について

◀/▶を操作して選局することができます。

手動選局(1ステップずつ)する場合は、◀/▶を押します。

自動選局する場合は、◀/▶をしばらく押し続けます。操作をやめたところから、自動選局が始まります。(自動選局中は「SEEK」と表示されます。)



◀ : 前の放送局を選ぶとき

▶ : 次の放送局を選ぶとき

## テレビ放送の受信をやめる

### 1 SOURCE を長く押す

テレビ放送の受信をやめます。

## 記憶された放送局の呼び出ししかた

あらかじめ記憶されている放送局から、お好みの放送局を呼び出すことができます。(プリセットチューニング) プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。



•本機は、テレビにTV1とTV2のメモリーがあり、それぞれのメモリーでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域の放送局はメモリーのTV1にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで周波数の異なる地域に移動したときに、メモリーのTV2にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになる周波数の記憶はTV1に残ったままです。

ユーザープリセット放送局

「放送局の自動記憶」( P31 )および「放送局の手動記憶操作(マニュアルプリセット)」( P33 )で記憶させた放送局です。

エリアプリセット放送局

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別の放送局です。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

エリアプリセットの収録放送局は、2003年12月時点での情報に基づいて収録されています。テレビ放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

はじめに

基本操作

テレビ  
AVCHD  
HDD

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## メモリーの切り替えかた

メモリーを切り替えます。

### 1 BAND/ESC を押す

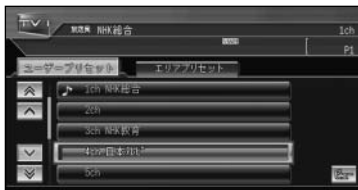
押すたびに以下のようにプリセットのメモリーが切り替わります。

TV1 TV2

## プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局を呼び出す(ユーザープリセット)か、自転車位置付近の放送局を呼び出す(エリアプリセット)かを選びます。

### 1 ユーザープリセットまたは エリアプリセット を選ぶ

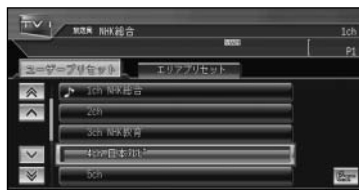


ここで選んだプリセットの種類が、次回に表示されるプリセットになります。

## プリセット放送局を選ぶ

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットのリストから選びます。

### 1 プリセット放送局を選ぶ



リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい放送局にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す( P22)

リモコンまたはモニターで選ぶ場合：

▲：次のプリセット放送局を呼び出すとき

▼：前のプリセット放送局を呼び出すとき



- ユーザープリセットでは、プリセットされた放送局は、プリセットNo.に振り分けられて記憶されています。プリセットされた放送局を受信すると、ソースプレートに振り分けられたプリセットNo.(例:P1)が表示されます。
- リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

# いろいろなテレビ操作のしかた

BSSM、音声多重、リスト切り替えのしかたなど、AVメニューを表示してソースメニューから行う受信・記憶操作や、その他の機能の操作について説明します。

## AVメニューを表示する

選んでいるソースのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。



- AVメニューのAV初期設定から「システム設定」を表示させることができます。  
**システム設定** : 「システム設定画面を表示する」(P108)

## ソースメニューでの いろいろな受信操作

### 放送局の自動記憶

メモリー( P30)ごとに、受信状態の良いチャンネルをTV1とTV2に各12局まで、自動的に記憶させることができます( BSSM )。

### 1 **BSSM** をサーチが開始されるまでタッチし続ける



**中止** を選ぶと、BSSMを中断します。

サーチ後、ユーザープリセット放送局が表示されます。

サーチされた放送局は各プリセットNo.に振り分けられてリストにプリセット(記憶)されます。

はじめに

基本操作

テレビ  
AVICXHEOO

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

つづく>



- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory(ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
- BSSM**を長く押ししてBSSMを開始することもできます。
- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

## 音声多重の切り替え

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。



- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

## 1 音声多重を選ぶ

選ぶごとに、以下のように切り替わります。  
MAIN SUB MAIN+SUB MAINに戻る

MAIN	: 主音声(日本語)
SUB	: 副音声(外国語)
MAIN+SUB	: 主・副音声(日本語+外国語)

## リストの切り替え

表示されるリストの大小を選ぶことができます。例えば停車中、テレビ画面を確認しながらリストから選局する場合、大きなリストだと背景のテレビ画面が見えない為、リストを小さくして切り替えることができます。

## 1 リスト小を選ぶ



- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが**リスト大**となり、選ぶことで通常のリスト表示にすることができます。

リストの大小を設定して通常画面に戻ります。



- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

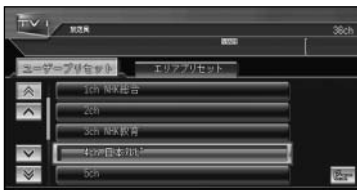


## 放送局の手動記憶

メモリー( P31)ごとに、TV1とTV2に各12局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

**1** ◀/▶ を左右に押して記憶させたい放送局を選ぶ

**2** 記憶させたいリストのプリセットNo.の枠をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中の放送局が、選んだプリセットNo.でユーザープリセット放送局に記憶されます。

記憶させた放送局の呼び出しかたは、「記憶された放送局の呼び出しかた」( P29)を参照してください。

## ミュージックサーバーへの録音

テレビの放送中の音声はミュージックサーバーに録音することができます。

詳しくは「CD以外のソースを録音する(AVIC-XH900)」( P68)を参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVIC-XH900)

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録



## 音楽ディスクの再生(CD、WMA/MP3)

ここではいろいろな音楽ディスクの再生、  
操作方法を説明します。

<b>音楽ディスクの再生</b> .....	36
再生する .....	36
再生画面について .....	36
早送り/早戻し・ラフサーチについて .....	38
再生を停止する .....	38
再生を一時停止する .....	38
詳細情報を表示する(MP3) .....	39
<b>いろいろな再生操作のしかた</b> .....	40
AVメニューを表示する .....	40
ソースメニューについて .....	40
ソースメニューでのいろいろな再生操作 .....	40
リピート再生 .....	40
ランダム再生 .....	41
スキャン再生 .....	41
サーチモードの切り替え .....	42
ミックスCD内のデータ形式の切り替え .....	43
ミュージックサーバーへの録音(CD) .....	43

# 音楽ディスクの再生

## 再生する

CD、WMA / MP3などの音楽ディスクを再生するには、次のようにします。

### 1 ディスクを挿入する( P19 )

自動的に再生が始まります。



- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

### 2 リストの中から聴きたい曲を選ぶ

リストから直接選ぶ場合：

- 聴きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す( P22 )

リモコンまたはモニター( AVIC-XH900 )で選ぶ場合：

◀ : 前の曲を選ぶとき

▶ : 次の曲を選ぶとき



- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- CDシングル( 8cmCD )もアダプターなしでセットします。アダプターは絶対に使用しないでください。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください( P24 )。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードは「オート」です。はじめて再生するCDの場合、自動的にCD録音中画面になりミュージックサーバーに録音されます。ミュージックサーバーに自動で録音しない場合は、設定を変更してください。「システム設定」( P108 )

- CD録音中は曲の選択や早送り / 早戻しなどの操作はできません。選曲操作などを行いたい場合は録音を中止してください。「録音を停止するには」( P68 )

- WMA/MP3は録音できません。

## 再生画面について

### CD


通常再生中の場合

トラックNo.      トラックタイトル  
ディスクタイトル      アーティスト名



再生中の曲

再生中のトラックの経過時間

- 内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- 録音を停止して、未録音の曲がある場合は、が表示されます。

ミュージックサーバーに録音中の場合

録音表示 録音プログレスバー 録音済み曲数



再生中の曲

詳しくは「ミュージックサーバーに録音する」(P65)を参照してください。



- ディスクタイトルやトラックタイトル、アーティスト名が長いと、表示可能な文字数までの表示となります。
- 表示可能文字数は画面の状態（1画面、ピクチャーサイドピクチャーなど）により異なります。
- CDとミュージックサーバーは共通のデータベースよりタイトルが取得されます。
- 内蔵のデータベースに記憶されていなかったり、複数のタイトル候補が記憶されているディスクの場合は、[ No Title ]と表示されます。
- [ No Title ]と表示されたディスクでも、ミュージックサーバーの機能で「タイトル情報の取得」を行うと表示することができる場合があります。「タイトル情報を取得する」(P104)
- ミュージックサーバーに録音済みのCDを再生する場合は、ミュージックサーバーにある情報、またはミュージックサーバーで編集した情報（タイトルなど）が表示されます。
- CD録音中は、曲を選択することや、早送り/早戻し、一時停止、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ミックスCD内のデータ形式を切り替えることはできません。

## WMA/MP3

フォルダーNo.      トラックタイトル  
フォルダータイトル      ビットレート



トラックNo.      アーティスト名  
再生中のトラックの経過時間

MP3はID3 Tag( P39)からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名が長いと、表示可能な文字数までの表示となります。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAは、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAの時にタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- **下**を選ぶと、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- **上**を選ぶと、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。
- 再生できないWMA/MP3ファイルだけ、またはWMA/MP3ファイルを含まないフォルダーは表示されません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、音楽データはフォルダーのみ表示され、WMA/MP3ソースでは再生できません。**BAND-ES**を押すかソースメニュー(P24)からCDに切り替えて音楽データを再生してください。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

システム設定

その他の機能

付録

## 早送り/早戻し・ラフサーチについて

再生中のディスクを早送り/早戻しします。また10曲飛ばすラフサーチが行えます。



- 早送り/早戻しとラフサーチを切り替える場合は、「サーチモードの切り替え」( P42 )を参照してください。

### 1 ◀/▶を押し続ける

早送り/早戻し :  
操作をやめたところから再生されます。

◀ : 早戻しするとき

▶ : 早送りするとき

ラフサーチ :  
10曲飛び後の曲から再生されます。

◀ : 前に10曲飛ばすとき

▶ : 後へ10曲飛ばすとき



- ラフサーチは、収録が10曲以下のディスクまたはフォルダーでは、ディスクまたはフォルダー内の最初と最後の曲を選曲します。またラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

## 再生を停止する

### 1 [SOURCE] を長く押す

ディスクの再生が停止します。

## 再生を一時停止する

### 1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 ポーズ/再生 を選ぶ



ディスクの再生が一時停止します。

**ポーズ/再生** をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。

## 詳細情報を表示する(MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

CD、WMAでは操作できません。

### 1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 詳細情報を選ぶ



ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報( ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年 )が表示されます。

**戻る** を選ぶと元の画面に戻ります。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVCHD)

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生など、AVメニューを表示してソースメニューから行う再生操作や、その他の機能の操作を説明します。

## AVメニューを表示する

選んでいるソースのAVメニューを表示させます。

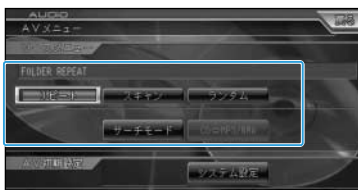
### 1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

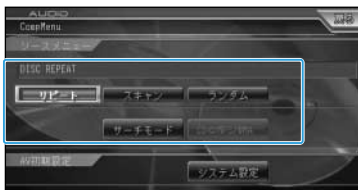
## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。

### CD



### WMA/MP3



•AVメニューのAV初期設定から「システム設定」を表示させることができます。  
**システム設定** : 「システム設定画面を表示する」(P108)

## ソースメニューでの いろいろな再生操作

それぞれのソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。



•CD録音中は **リピート**、**ランダム**、**スキャン**、**サーチモード**、**CD MP3/WMA** は操作できません。

## リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをTRACK REPEATにすると再生中の曲を繰り返して聴くことができます。

### 1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

#### CD:

DISC REPEAT    TRACK REPEAT

#### WMA/MP3:

DISC REPEAT    TRACK REPEAT  
FOLDER REPEAT    DISC REPEAT  
に戻る

DISC        : 通常の再生状態です。再生中の  
REPEAT     のディスクを繰り返します。

TRACK      : 再生中のトラック(曲)を繰り返  
REPEAT     返します。

FOLDER     : 再生中のフォルダーを繰り返  
REPEAT     します。(WMA/MP3のみ)





設定したリピートの範囲は、ソースプレートに表示されます。



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作( TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。

## ランダム再生

選んだりリピートの範囲内( P40)で、曲順を変えて再生することができます。

### 1 ランダム を選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります( ONにすると「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を越える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

## スキャン再生

選んだりリピートの範囲( P40)で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダーの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

### 1 リピートの範囲を以下のように指定する( P40)

#### 聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク( CD)、フォルダー( WMA/MP3)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します。

CD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、上記のリピートの範囲に切り替わります。

## 聴きたいフォルダー( WMA/MP3 ) を探すとき

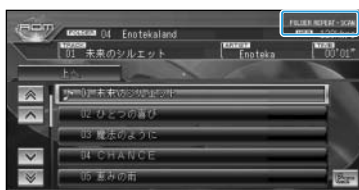
ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

## 2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります( ONにすると「(リピート範囲)SCAN」が表示されます。 )。



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)SCAN」が表示されます。



- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## 3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度 スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダー/グループが再生されます。



- スキャン再生中にその他の再生( リピート再生、ランダム再生など )やリピートの範囲を越える操作( フォルダの切り替えなど )を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

## サーチモードの切り替え

CD、WMA/MP3では(◀)/(▶)を長く押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

## 1 サーチモードを選ぶ



## 2 設定するサーチモードを選ぶ



FF/REW : 早送り/早戻しになります。

ラフサーチ : ラフサーチになります。

## ミックスCD内のデータ形式の切り替え

CD-ROM、CD-R/RWなどで、音楽データ（CD）とWMAやMP3形式のデータが混在しているディスク（ミックスCD）を再生中の場合、ソースがデータと一致していないと再生できません。ミックスCDで違う形式のデータを再生したいときは、ソースを切り替えます。

### 1 CD MP3/WMA を選ぶ



再生するデータ形式のソースに切り替わり、最初の曲から再生が始まります。



- **[BAND/ESC]** を押して切り替えることもできます。
- 挿入されているディスクがミックスCDでない場合は、**CD MP3/WMA** は操作できません。
- 一時停止中は操作できません。
- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

## ミュージックサーバーへの録音（CD）

CD録音は、「オート」「マニュアル」「シングル」のいずれかで録音することができます。

詳しくは「ミュージックサーバーに録音する（P65）」を参照してください。



- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-Rなど）から、ミュージックサーバーに録音（コピー）することはできません。また、ミュージックサーバーからCF型メモリーカードにコピーすることもできません。これは孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。

はじめに

基本操作

AVEXHOO  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

システム設定

その他の機能

付録



## DVD

DVDの再生 .....	46	コマ送り再生 .....	52
リモコンをDVD操作に使うとき .....	46	スロー再生 .....	52
再生する .....	46	ブックマークの記憶 .....	53
DVD再生をやめる .....	46	字幕言語の切り替え .....	54
再生を停止する .....	47	音声言語の切り替え .....	54
静止画再生する .....	47	アングルの切り替え .....	55
観たい場所を探す .....	47	ディスクに指定された	
タイトルを進める / 戻す .....	47	位置まで戻って観る .....	55
チャプターを進める / 戻す .....	47	DVDのAVメニューでの操作 ...	56
早送り / 早戻しをする .....	47	AVメニューを表示する .....	56
ディスクが自動的に		ソースメニューについて .....	56
再生しないときは .....	48	ソースメニューでの	
ディスクの再生操作について .....	48	いろいろな再生操作 .....	56
操作タッチキーの		リピート再生 .....	56
表示と消しかた .....	48	音声出力の切り替え .....	57
ディスクメニューの操作 .....	49	DVD初期設定のしかた .....	58
ディスクメニューの表示 .....	49	DVD初期設定メニューを表示する ...	58
ディスクメニューの操作 .....	49	初期設定をする .....	58
操作タッチキーで		字幕言語を設定する .....	58
観たい場所を探す .....	49	音声言語を設定する .....	59
チャプターを進める / 戻す .....	50	メニュー言語を設定する .....	59
早送り / 早戻しをする .....	50	アシスト字幕の表示 / 非表示を	
操作タッチキーで		設定する .....	60
再生を停止する .....	50	アングル選択マークの	
観たい場面をダイレクトに選ぶ ..	51	表示 / 非表示を設定する .....	60
操作タッチキーで		テレビアスペクト	
いろいろな操作をする .....	52	(画面の 縦横比)を設定する ....	60
静止画再生 .....	52	視聴制限を設定する .....	61
		オートプレイを設定する .....	62


# DVDの再生

## リモコンをDVD操作に使うとき

本機では、ソースがDVDで、AVメニュー（ P56 ）からの操作以外の通常操作を、リモコンから行うことができます。さらに、組み合わせている製品や操作モード切替スイッチによって、組み合わせているDVD製品を操作することができます。

## AVH-P9DVAや他社モニターと組み合わせた場合

AVIC-H900とAVH-P9DVAまたは他社モニターと組み合わせた場合は、以下の制限があります。

- ソースプレートは表示しません。
- 操作タッチキーを表示している場合背景にはDVDの映像は表示されず、壁紙表示となります。
- ディスクメニューの操作でタッチ操作モードの表示はしません。
- リモコン操作モードで  は表示しません。

## 再生する

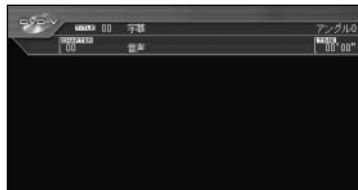
### ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を観ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

DVDの映像ディスクを再生するには、次のようにします。

## 1 ディスクを挿入する( P19)

自動的に再生が始まります。



- ディスクによっては、ディスクメニューが表示される場合があります。「ディスクメニューの操作」( P49 )
- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- DVDの録音レベルは他のソースより低い場合、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。( P24 )
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをDVDにした場合は、音声のみ切り替わります( P25 )。 **(NAV/AV)** を押すとそれぞれのソースの通常画面になります。
- ブックマーク( P53 )の設定によっては、記憶されたブックマークから再生される場合があります。
- オートプレイ ( P62 ) の設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

## DVD再生をやめる

ディスクの再生が停止し、ソースがOFFになります。

### 1 **SOURCE** を長く押す

## 再生を停止する

ソースはDVDのまま、ディスクの再生を停止します。

### 1 再生中に、スケールレバーを [ 詳細 [■] 側 ] に倒す

通常の再生に戻るには、[ 広域 [▶/⏸] 側 ] に倒します。



- 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、停止できないことがあります。

## 静止画再生する

### 1 再生中に、スケールレバーを [ 広域 [▶/⏸] 側 ] に倒す

再生中の映像を一時停止し、静止画として観ることができます。

通常の再生に戻るには、もう一度 [ 広域 ] (▶/⏸) 側 に倒します。



- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、静止画再生できない場合があります。

## 観たい場所を探す

◀/▶/▲/▼ を押して、タイトルやチャプターを切り替えたり、早送り/早戻しをしたりして、観たい場所を探すことができます。



- 操作タッチキー ( P48 ) を操作して探すこともできます。「操作タッチキーで観たい場所を探す」( P49 ) を参照してください。

## タイトルを進める / 戻す

### 1 ▲ / ▼ を押す

タイトルが順に送られます。

▲ : タイトルを進める

▼ : タイトルを戻す

## チャプターを進める / 戻す

### 1 ◀ / ▶ を押す

チャプターが順に送られます。

◀ : チャプターを戻す

▶ : チャプターを進める

## 早送り / 早戻しをする

### 1 ◀ / ▶ を押し続ける

操作をやめたところから、再生されます。

◀ : 早戻しするとき

▶ : 早送りするとき



- 約5秒以上押し続けると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻るには、スケールレバーを [ 広域 [▶/⏸] 側 ] に倒します。
- ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

## ディスクが自動的に再生しないときは

ディスクによっては、ディスクをセットした後に映像選択メニューなどが表示され、自動的に再生を開始しない場合があります。その場合は、次の手順で操作タッチキーを操作し再生を開始します。



- ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。
- オートプレイの設定をONにすると、若いタイトルから自動的に再生することができます。  
「オートプレイを設定する」(P62)

### 1 映像選択メニューなどが表示されたら、画面にタッチするか(決定)または(ビュ-)を押す

操作タッチキー(次項)が表示されます。

### 2 選ぶ



ディスクメニューが表示されますので、「ディスクメニューの操作」(P49)を参照して、再生を開始します。



- 選ぶにタッチして選ぶと「タッチ操作モード」となり、リモコン操作で選ぶと「リモコン操作モード」となります。
- 操作タッチキーが消えないときは、戻るを選ぶか戻るを押します。

## ディスクの再生操作について

DVDの再生操作は、操作タッチキーを表示して行います。

また、ディスクメニューを表示して操作することもできます( P49 )。

### 操作タッチキーの表示と消しかた

操作タッチキーは、映像ディスク再生中に画面にタッチするか、(決定)か(ビュ-)を押して表示します。(ビュ-)を選ぶか(ビュ-)を押すと消えます。

#### 操作タッチキー(1ページ目)



- 次ページを選ぶと2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

#### 操作タッチキー(2ページ目)



- 前ページを選ぶと1ページ目の操作タッチキーに戻ります。



## ディスクメニューの操作

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。



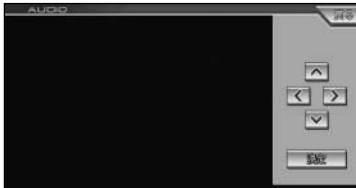
- ディスクメニューは左右を圧縮して映像全体を表示しています。

### ディスクメニューの表示

ディスクメニューには、画面のタッチキー操作で表示されるもの(タッチ操作モード)と、リモコン操作で表示されるもの(リモコン操作モード)があり、ディスクメニューの表示のしかたには、以下の3つの方法があります。

- 操作タッチキーの **トップメニュー** または **メニュー** にタッチする：タッチ操作モードになります。
- 操作タッチキーの **トップメニュー** または **メニュー** をリモコンで選ぶ：リモコン操作モードになります。
- 再生中に **MENU** または **TOP.M** を押す：リモコン操作モードになります。

#### タッチ操作モードの場合



画面にタッチして操作します。



- 項目をリモコンで操作することもできますが、その場合リモコン操作モードとなります。

#### リモコン操作モードの場合



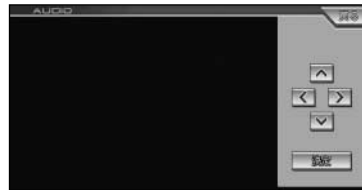
ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作します。

## ディスクメニューの操作

### 1 チャプターを選ぶ

タッチ操作モード：

矢印にタッチしてチャプターを選ぶ



チャプターを選んだ後、**決定** にタッチすると、選んだ映像が再生されます。

リモコン操作モード：

ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作する



チャプターを選んだ後、**決定** を押すと、選んだ映像が再生されます。

### 操作タッチキーで観たい場所を探す

操作タッチキーを操作して、チャプターを切り替えたり早送り/早戻しをしたりして、観たい場所を探すことができます。



- ◀/▶/▲/▼**を押して探すこともできます。「観たい場所を探す」(P47)を参照してください。

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## チャプターを進める/戻す

### 1 操作タッチキー( P48)の ◀◀ または ▶▶ にタッチする



◀◀ : チャプターが1つ戻る

▶▶ : チャプターが1つ進む

## 早送り/早戻しをする

### 1 操作タッチキー( P48)の ◀◀ または ▶▶ にタッチし続ける



操作をやめたところから、再生されます。



- 再生中にタッチしたまま(約5秒以上)でいると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻るには、▶▶ を選ぶかスケールレバーを[広域 I ▶▶]側に倒します。
- ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常の再生になります。

## 操作タッチキーで再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

### 1 操作タッチキー( P48)の Ⅱ を選ぶ

通常の再生に戻るには、▶Ⅱ を選ぶかスケールレバーを[広域 I ▶Ⅱ]側に倒します。



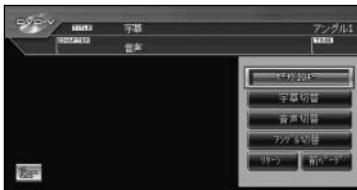
- 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ディスクまたは再生位置によっては、⓪ (禁止マーク)が表示され、停止できないことがあります。

## 観たい場面をダイレクト に選ぶ

タイトル、チャプターまたは時間を指定して観たい場面を選んで再生することができます。(ダイレクトサーチ)  
指定の方法は4種類あります。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する( P48 )

### 2 サーチ/10キーを選ぶ



### 3 Title、Chapter、Time、10Key のいずれかを選ぶ



### 4 番号を10キーで選ぶ

『ナビゲーションブック』

**Title** 観たい場面のタイトル番号を入力  
**サーチ :** します。2桁まで入力できます。  
(入力例)  
タイトル番号4を検索する場合  
**4**を選ぶ  
タイトル番号10を検索する場合  
**1 0**と選ぶ

**Chapter** 観たい場面のチャプター番号を入力  
**サーチ :** します。2桁まで入力できます。  
(入力例)  
チャプター番号6を検索する場合  
**6**を選ぶ  
チャプター番号10を検索する場合  
**1 0**と選ぶ

**Time** 観たい場面の時間を入力します。  
**サーチ :** 5桁まで入力できます。  
**分、秒**を選ぶと分と秒を確定  
します。分より先に秒を入力する  
ことはできません。  
(入力例)  
2時間20分00秒(140分00秒)  
の場面を検索する場合  
**1 4 0 分 0 秒**  
または  
**1 4 0 分**と選ぶ

**10Key :** 数字のコマンドを入力します。  
3桁(1~291)まで入力できます。  
入力の先頭に0を入力することは  
できません。  
(入力例) **0 1 2**



- 収録されていないタイトル番号、チャプター番号、時間などを入力した場合は⓪(禁止マーク)が表示され、検索できないことがあります。また、ディスクによっては収録されていても検索できない場合があります。
- 10キーで操作することもできます。

### 5 決定を選ぶ

指定した場面から再生を始めます。



- 映像画面に戻るには、**戻る**を選ぶか**戻る**を押し、一度操作タッチキーに戻り、**ピュ**または**ピュ**で通常画面に戻ります。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AV/VIDEO)

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サバーバイ

システム設定

その他の機能

付録

## 操作タッチキーで いろいろな操作をする

操作タッチキー1ページ目での静止画再生、コマ送り再生、スロー再生やブックマーク、操作タッチキー2ページ目での字幕 / 音声 / アングルの切り替え、リターン再生などについて説明します。

### 静止画再生

再生中の映像を一時停止して、静止画として観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



通常の再生に戻るには、もう一度 ▶/|| を選びます。



- スケールレバーを[ 広域 I ▶/|| ]側に倒して観ることもできます。通常の再生に戻るにはもう一度[ 広域 I ▶/|| ]側に倒します。
- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓞ (禁止マーク)が表示され、静止画再生できない場合があります。
- ▶/|| を選んでも一時停止します(ポーズ状態)。

### コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



#### 2 ▶/|| を選ぶ

選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。通常の再生に戻るには、もう一度 ▶/|| を選ぶかスケールレバーを[ 広域 I ▶/|| ]側に倒します。



- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓞ (禁止マーク)が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

### スロー再生

再生スピードを遅くして観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



#### 2 ▶/|| を選び続ける

送り方向にスロー再生されます。通常の再生に戻るには、もう一度 ▶/|| を選ぶかスケールレバーを[ 広域 I ▶/|| ]側に倒します。

スロー再生のスピードを切り替えることができます。

**スロー-DOWN** : 再生スピードが遅くなります

**スロー-UP** : 再生スピードが速くなります



- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、スロー再生できない場合があります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

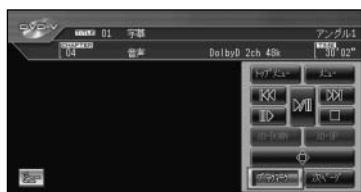
## ブックマークの記憶

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。またディスク取り出しの際に登録することもでき、次にディスクを挿入したときに、その続きから再生されます。

### 再生中に記憶する

**1** 再生中に操作タッチキーを表示する( P48 )

**2** **ブックマーク** を選ぶ



選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

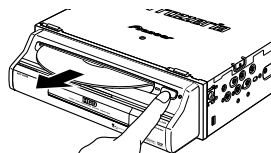
上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、**ブックマーク** を選び続けます。



- ブックマーク** を押して記憶することもできます。記憶したブックマークを消去する場合は**ブックマーク** を長く押しします。
- 再生中によるブックマークの記憶(前記操作)は、ディスク1枚につき1場面記憶でき、ディスク5枚分のブックマークを記憶します。同じディスクを再度記憶した場合は、上書きされます。
- 5枚を越えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。
- 1枚のディスクに**ブックマーク** または**ブックマーク** とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

### ディスク取り出しの際に記憶する

**1** 再生中にディスク取り出しボタンを押し続け、ディスクを取り出す



ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、ディスク取り出しボタンを短く押してディスクを取り出します。

つづく→



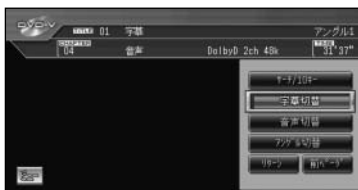
- ディスク取り出しボタンによるブックマークの記憶（前記操作）は、ディスク1枚分のブックマークを記憶します。
- 1枚のディスクに **ブックマーク** または **ブックマーク** とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

## 字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます（マルチ字幕）。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する（ P48）

### 2 字幕切替 を選ぶ



選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。



- **録音/削除** (字幕) を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている **2** マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、字幕言語を切り替えることができない場合があります。

## 音声言語の切り替え

音声は複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます（マルチ音声）。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する（ P48）

### 2 音声切替 を選ぶ



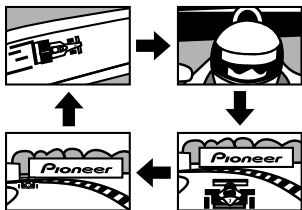
選ぶごとに、音声言語が切り替わります。



- **オフフック/切替** (音声) を押して切り替えることもできます。
- DVDのパッケージについている **Ⓜ** マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- **[ Dolby D ] [ 5.1ch ]** などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

## アングルの切り替え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。

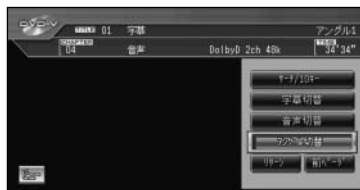


- マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

## 1 マルチアングルが収録されている場面を再生中に、操作タッチキーの2ページ目を表示する( P48)

## 2 アングル切替 を選ぶ

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



選ぶごとに、アングルが切り替わります。



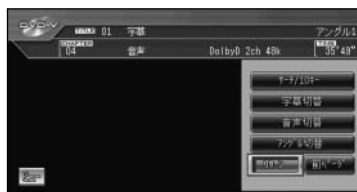
- オン/オフ/確定**(アングル)を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている $\text{3}$ マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示の表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。「アングル選択マークの表示/非表示を設定する」(P60)

## ディスクに指定された位置まで戻って観る

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます(リターン再生)。

## 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する( P48)

## 2 リターン を選ぶ



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

はじめに

基本操作

テレビ  
AVCHD

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# DVDのAVメニューでの操作

リピート再生、音声出力の切り替えなど、AVメニューを表示してソースメニューから行う操作について説明します。



•ソースメニューの **DVD初期設定** については「DVD初期設定のしかた」(P58)で説明しています。

## AVメニューを表示する

DVDのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があります。



•AVメニューのAV初期設定から「システム設定」を表示させることができます。  
**システム設定** : 「システム設定画面を表示する」(P108)

## ソースメニューでの いろいろな再生操作

### リピート再生

リピートとは繰り返し再生する範囲を指定することです。例えば、リピートをCHAPTER REPEATにすると再生中のチャプターを繰り返し観ることができます。

### 1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

DISC REPEAT CHAPTER REPEAT  
TITLE REPEAT DISC REPEATに  
戻る

DISC : 通常の再生状態です。再生  
REPEAT 中のディスクを繰り返し  
ます。

CHAPTER : 再生中のチャプターを  
REPEAT 繰り返します。

TITLE : 再生中のタイトルを繰り返  
REPEAT します。





設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。



- ディスクまたは再生位置によっては、ⓧ (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲をこえる操作( CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り替えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ ( P62 ) の設定がONのときには機能しません。
- 通常再生であるDISC REPEATはソースプレートに表示されません。

## 音声出力の切り替え

音声がニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

### 1 L/R切替 を選ぶ



### 2 設定項目を選ぶ



**L** : 左の音声を出力

**R** : 右の音声を出力

**L+R** : 左右両方の音声を出力

選んだ側の音声を出力します。

はじめに

基本操作

AVメニュー  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# DVD初期設定のしかた

DVD機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える煩わしさがありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示 / 非表示
- アンクル選択マークの表示 / 非表示
- テレピアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）
- オートプレイのON/OFF

## DVD初期設定メニューを表示する

### 1 AVメニューを表示する( P56 )

### 2 ソースメニューから **DVD初期設定** を選ぶ



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。



- 設定を終了し、元の画面に戻るには、初期設定メニュー表示中に **戻る** を選ぶか **戻る** を押します。
- **終了** を選ぶと設定を終了し、DVD映像画面に戻ります。
- 初期設定メニューは、設定項目ごとに画面が切り替わります。別の項目を設定する場合は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押して、1つ前の画面に戻ります。

## 初期設定をする

### 字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ字幕)。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 **基本字幕** を選ぶ

基本字幕設定画面が表示されます。

### 2 字幕として優先したい言語を選ぶ



字幕言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が表示されます。
- この設定にかかわらず、再生中に **録音/削除** (字幕) を押して字幕言語を切り替えることができます。押すたびに字幕が切り替わりますが、初期設定には反映されません。
- ディスクによっては設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。

## その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」( P137)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、**決定** を選びます。『ナビゲーションブック』



## その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」( P137)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、**決定** を選びます。『ナビゲーションブック』



## 音声言語を設定する

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 基本音声を選ぶ

基本音声設定画面が表示されます。

### 2 音声として優先したい言語を選ぶ



音声言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が聞こえます。
- この設定にかかわらず、再生中に**オフック/切替**(音声)を押して音声言語を切り替えることができます。押すたびに音声言語が切り替わりますが、初期設定には反映されません。

## メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 メニュー言語を選ぶ

メニュー言語設定画面が表示されます。

### 2 メニュー - 言語として優先したい言語を選ぶ



メニュー言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

つづく➡

## その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(P137)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、「決定」を選びます。

『ナビゲーションブック』



## アシスト字幕の表示/非表示を設定する

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

工場出荷時は「表示」です。

### 1 アシスト字幕を選ぶ

アシスト字幕設定画面が表示されます。

### 2 表示 または 非表示 を選ぶ



アシスト字幕の表示/非表示が設定されます。

## アングル選択マークの表示/非表示を設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。工場出荷時は「表示」です。



- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されているディスクに対して有効です。

### 1 マルチアングルを選ぶ

アングル設定画面が表示されます。

### 2 表示 または 非表示 を選ぶ



アングル選択マークの表示/非表示が設定されます。

## テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する

工場出荷時は「16:9」です。

### 1 テレビアスペクトを選ぶ

テレビアスペクト設定画面が表示されます。

### 2 希望のテレビアスペクトを選ぶ



選んだテレビアスペクトが設定されます。

16:9:

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

#### レターボックス:

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

#### パンスキャン:

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。



- 本機のモニターはワイドモニターですので、通常は「16:9」に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで「16:9 PS」マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

## 視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に観せたくない場面に視聴制限をかけることができます(レンタルロック)。

最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号が設定されないと操作できません。

工場出荷時は「レベル8」です。



- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、「戻る」を選ぶか「戻る」を押してください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

### 暗証番号と視聴制限レベルの設定

#### 1 視聴制限を選ぶ

視聴制限設定画面が表示されます。

#### 2 画面の数字で、4桁の暗証番号を入力する



設定した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

つづく→

### 3 決定 を選ぶ

暗証番号が設定され、視聴制限レベルの設定が可能になります。

### 4 画面の数字でレベルを選ぶ

選んだ視聴制限のレベルが設定されます。

レベル8 : ディスクをすべて再生する

レベル7~2 : 成人向けディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)

レベル1 : 子供向けのディスクのみ再生する

#### レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

### 1 視聴制限 を選ぶ

視聴制限設定画面が表示されます。

### 2 画面の数字で、登録してある暗証番号を入力する

### 3 決定 を選ぶ

視聴制限レベルの変更が可能になります。



•入力した暗証番号が間違っていると、「暗証番号が一致しません。もう一度入力して下さい。」と表示されます。この場合は、削除 を選ぶか(録音/削除)を押して、正しい番号を入力し直してください。暗証番号を忘れた場合は、次項の「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

### 4 画面の数字で、レベルを選ぶ

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

#### 暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順 2 で 削除 に10回連続でタッチするか(録音/削除)を10回連続で押すと、暗証番号が解除されます。その後、「暗証番号と視聴制限レベルの設定」の手順 2 ~ 3 に従い、新しい暗証番号を設定します。

### オートプレイを設定する

DVDディスク挿入と同時に、若いタイトルから自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オートプレイ を選ぶ

オートプレイ設定画面が表示されます。

### 2 ON または OFF を選ぶ



オートプレイの機能が設定されます。



- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

# ミュージックサーバー

ミュージックサーバーとは	64	フィーリングプレイ	82
ミュージックサーバーに録音する	65	フィーリングプレイとは	82
録音についてのご注意	65	フィーリングプレイで再生する	82
CD録音の制限について	65	フィーリングプレイの	
すべてのモード	65	通常操作画面について	83
オート/シングルモード	65	再生曲が選択した曲調と合わないとき	83
CD録音の設定	66	フィーリングプレイの設定	84
録音設定画面を表示する	66	フィーリングプレイ設定画面を表示する	84
CDの録音モードを設定する	66	フィーリングプレイ対象外設定	84
録音時間を設定する		学習クリア	85
(AVIC-XH900)	66	<b>各リストを作成する</b>	86
CD再生時に自動的に録音する	67	編集項目選択画面を表示する	86
CDを手動で録音する	67	グループとプレイリストについて	86
CDの1曲目だけを自動的に録音する	67	ユーザーグループにプレイリストを	
CD以外のソースを録音する		作成する	87
(AVIC-XH900)	68	カスタマイズグループに	
録音を停止するには	68	プレイリストを作成する	89
<b>ミュージックサーバーの聴きかた</b>	69	<b>各リストを編集する</b>	90
グループ、プレイリスト、		グループリストを編集する	90
トラックについて	69	グループリストの詳細情報画面を	
再生する	69	表示する	90
早送り/早戻しについて	70	カスタマイズグループの	
再生を停止する	71	名称、よみを変更する	90
再生を一時停止する	71	カスタマイズグループに	
詳細情報を表示する	71	プレイリストを追加する	91
<b>いろいろな再生操作のしかた</b>	72	カスタマイズグループを	
AVメニューを表示する	72	初期化する	91
ソースメニューについて	72	プレイリストを編集する	92
ソースメニューでのいろいろな再生操作	72	プレイリスト詳細情報画面を表示する	92
リピート再生	72	タイトルやよみを変更する	93
ランダム再生	73	アーティスト名を変更する	94
ダイジェストスキャン再生	74	ジャンルを設定する	94
<b>ヒットチャートプレイ</b>	75	画像を設定する	95
ヒットチャートとは	75	プレイリストの再生順を変更する	96
ヒットチャートで再生する		プレイリストを消去する	97
(ヒットチャートプレイ)	76	トラックを編集する	98
ヒットチャートの通常操作画面について	77	トラックの情報を編集する	98
カウントダウン、		ユーザープレイリストの	
カウントアップで再生する	78	トラック再生順を変更する	99
通常のミュージックサーバー再生に戻る	78	ユーザープレイリストに	
最新のヒットチャートを見る	78	トラックを追加する	100
最新チャートをダウンロードする	79	プレイリストからトラックを消去する	101
情報画面を見る	79	タイトル情報について	102
リンクを付ける	80	取得できる情報	102
チャート情報を更新する	81	GracenoteCDDBについて	103
		タイトル情報を取得する	104

# ミュージックサーバーとは

CDやAVIC-XH900ではアナログソース( テレビ、VTRなどの音源 )を本機のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

ミュージックサーバーをご利用になる場合は、まずCDを録音するなど、音源をハードディスクに録音してからご利用ください。( P65 )

ミュージックサーバーには、次の再生機能があります

- 録音時に自動作成されるプレイリストを再生するオリジナルグループ再生
- アーティスト情報をもとに自動作成されるプレイリストを再生するアーティストグループ再生
- お好みのトラックでプレイリストを作成して再生するユーザーグループ再生
- それぞれのプレイリストからお好みのプレイリストを抜き出し、一人で聴くときのグループ、子供と聴くときのグループなど、グループ化するカスタマイズグループ再生
- ヒットチャート情報をベースにして録音された曲をチャート順に再生できるヒットチャートプレイ( P75 )
- 曲調を学習し、聴く人のお好みに合わせて成長していくフィーリングプレイ( P82 )



- CDを録音する方法は選択できません。  
「CDの録音モードを設定する」( P66 )
- DVDの音声は録音できません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体( CD-Rなど )から、ミュージックサーバーに録音( コピー )することはできません。また、ミュージックサーバーからCF型メモリーカードにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム( SCMS )の働きによるものです。
- テレビ、VTR( ビデオなど )は音声のみ録音することができます。
- AVIC-H900とAVX-P9DVまたはAVX-P7、AVH-P9DVAを組み合わせても、CD以外の録音はできません。



# ミュージックサーバーに録音する

CDやAVIC-XH900ではテレビ、VTRを録音することができます。CDは4倍速による同時録再、さらに裏録(録音中に他のソースを聴く)もできます。

## 録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

### ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

## CD録音の制限について

### すべてのモード

- 録音中のCDの再生音は、ミュージックサーバーに録音された音を再生するため、CDの原音とは異なって聞こえる場合があります。
- 録音中にCD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。**録音/削除**を押すと、録音を停止します。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。

- CD録音中は、曲を選択することや、早送り/早戻し、一時停止、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ミックスCD内のデータ形式を切り替えることはできません。
- 音飛びのエラーを検出した場合はメッセージを表示し、そのトラックの始めに戻り録音を再開します。また、HDDがエラーになった場合は、録音中のトラックを破棄し、CDソースに切り替わります。
- 同じ曲の同じ位置(再生経過時間)で3回エラーを検出した場合、そのトラックは録音せずに、次のトラックの録音を始めます。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりブレイクユニットを取り外したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。
- ミュージックサーバーの録音可能時間(ハードディスク容量)がCDの演奏時間より短い場合は、録音できません。(録音機能は動きません。)

### オート/シングルモード

- エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチをON(本機の電源をON)にすると、エンジンスイッチをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CD録音モードを「オート」に切り替えてから**録音/削除**を押すと、ディスクの頭の録音してない曲から録音を開始します。
- CD録音モードを「シングル」に切り替えてから**録音/削除**を押すと、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## CD録音の設定

CDの録音モード(自動録音、手動録音)やCD以外のソースの録音時間などの録音設定は、録音設定画面で行います。



- 録音中は設定できません。
- AVIC-H900は、録音時間の設定はできません。

### 録音設定画面を表示する

#### 1 AVメニューを表示する( P72)

#### 2 システム設定を選ぶ



#### 3 録音設定を選ぶ



### CDの録音モードを設定する

CDの録音モードを設定します。

「CD再生時に自動的に録音する」(P67)、「CDを手動で録音する」(P67)、「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(P67)

工場出荷時は「オート」です。

#### 1 録音設定画面を表示する( 前項)

#### 2 「録音モード」の **オート**、**マニュアル** または **シングル** を選ぶ

**オート** : CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する

**マニュアル** : CDを再生しながら手動でミュージックサーバーに録音する

**シングル** : CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する

### 録音時間を設定する ( AVIC-XH900 )

CD以外のソースを録音する場合の設定です。あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。

工場出荷時は「70分」です。

#### 1 録音設定画面を表示する( 前項)

#### 2 「録音時間(CD以外)」の時間を**選ぶ**

選べる時間

10分、30分、50分、70分、90分、160分、320分

## CD再生時に自動的に録音する

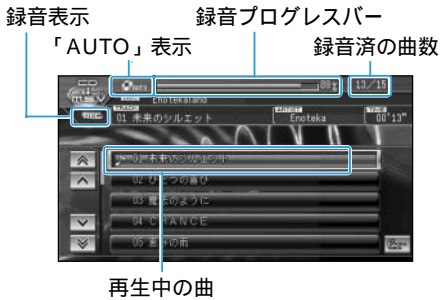
CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーに録音されます。

### 1 録音モードをオートにする

「CDの録音モードを設定する」(P66)工場出荷時は「オート」です。「マニュアル」、「シングル」に設定してある場合は手順1を行ってください。

### 2 CDを再生する

「再生する」(P36)



CDの録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

リストは録音済みのトラックタイトルは青色で表示されます。

•地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音します。

### 1 録音モードをマニュアルにする

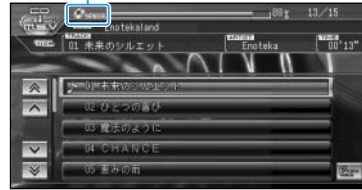
「CDの録音モードを設定する」(P66)

### 2 録音したい曲を再生する

「再生する」(P36)「いろいろな再生操作のしかた」(P40)

### 3 録音/削除を押す

「MANUAL」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

•地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDを再生すると、1曲目だけが自動的にミュージックサーバーに録音されます。

### 1 録音モードをシングルにする

「CDの録音モードを設定する」(P66)

### 2 CDを再生する

「再生する」(P36)

「SINGLE」表示



CDの録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

つづく→



- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## 録音を停止するには

**録音/削除** を押します。



- CDを再生しながら録音している場合、録音を解除された曲の始めに戻り通常再生します。

## CD以外のソースを録音する (AVIC-XH900)

テレビ、VTR（ビデオなど）の音声をミュージックサーバーに録音することができます（アナログソース録音）。



- CD以外のソースは、すべて手動で録音します。「CD録音モード」のような録音方法の選択はありません。
- CD以外のソースの録音では、あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。設定するには、「録音時間を設定する(AVIC-XH900)」(P66)を参照してください。

## 1 録音するソースに切り替える

「ソースを切り替える」(P24)

## 2

**録音/削除** を押す

録音表示



録音が始まります。



- CD以外のソースを録音すると、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

# ミュージックサーバーの聴きかた

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

システム設定

その他の機能

付録



- 選んだグループ内のプレイリストを繰り返し再生します。小さい番号のプレイリストより順に再生され最後のプレイリストの再生が終わると、最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。
- 再生順序の変更をすることができます。「プレイリストの再生順を変更する」(P96)

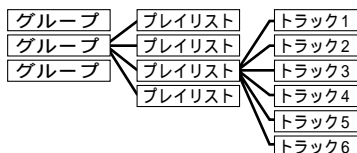
## グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、グループ、プレイリスト、トラックの3種類で、曲などの音源をまとめています。

グループとは、いくつかのプレイリストを一つにまとめたものです。

プレイリストとは、いくつかのトラック(曲など)を一つにまとめたものです。

トラックとは録音された一つの曲などのことです。



グループには以下のようなものがあり、名前などを編集(P90)できるものもあります。ユーザーグループ、カスタマイズグループは未登録の場合、薄いグレー表示で選択できません。

オリジナルグループ : CDを録音したときに自動的に作成されるプレイリストのグループです。

アーティストグループ : 録音時にアーティスト情報をもとに自動的に作成されたアーティストプレイリストのグループです。

ユーザーグループ : いろいろなトラックをお好みで編成したユーザープレイリストのグループです。

カスタマイズグループ : いろいろなプレイリストをお好みで編成したグループです。

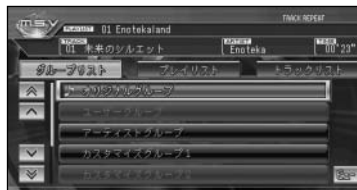
## 再生する

再生したいグループ、プレイリスト、トラックを各リストから選んで再生します。

### 1 SOURCE を押して、ソースをミュージックサーバーに切り替える

前回再生していたプレイリストから再生されます。

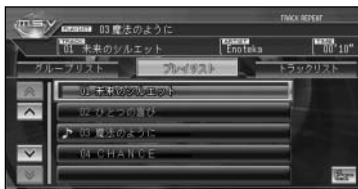
### 2 再生したいリストを選ぶ



「グループプレイリスト」「プレイリスト」「トラックリスト」から選べます。

つづく→

### 3 再生するグループ、プレイリスト、トラックを選ぶ



リストから直接選ぶ場合：

- 再生したいグループ、プレイリスト、トラックにタッチする
- カーソルを移動して **(決定)** を押す( P22 )

リモコンまたはモニター( AVIC-XH900 )で選ぶ場合：

**(▲)**：次のプレイリストを選ぶとき

**(▼)**：前のプレイリストを選ぶとき

**(◀)**：前のトラックを選ぶとき

**(▶)**：次のトラックを選ぶとき



- プレイリストタイトルやトラックタイトル、アーティスト名が長いと表示可能な文字数までの表示となります。
- 表示可能文字数は画面の状態(1画面、ピクチャーサイドピクチャーなど)により異なります。
- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭に **♪** マークが付きます。
- グループを選ぶと、先頭のプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。
- 選んだグループが再生中の場合は、すぐにポップアップが表示されます。**戻る** を選ぶか、**(戻る)** を押してください。
- 録音中のプレイリストは再生できません。

### 早送り/早戻しについて

#### 1 **(◀)** / **(▶)** を押し続ける

早送り/早戻し状態になり、操作をやめたところから再生されます。

**(◀)**：早戻しするとき

**(▶)**：早送りするとき

## 再生を停止する

### 1 SOURCE を長く押す

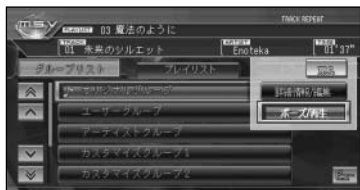
ミュージックサーバーの再生が停止します。

## 再生を一時停止する

### 1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 ポーズ/再生 を選ぶ



再生が一時停止します。

**ポーズ/再生** をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。

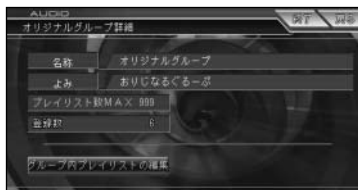
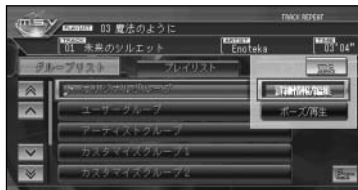
## 詳細情報を表示する

現在再生中のグループやプレイリスト、トラックの詳細情報を表示することができます( 詳細情報 )。

### 1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 詳細情報/編集 を選ぶ



詳細情報( タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど )が表示されます。

**戻る** を選ぶと、元の画面に戻ることができます。



- **タイトル**、**よみ**、**アーティスト**、**ジャンル** などを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。「各リストの編集 (P90)」
- 詳細情報表示画面内に **その他** がある場合は、選ぶことで他の情報も表示することができます。

# いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生など、AVメニューを表示してソースメニューから行う操作について説明します。



- ヒットチャートプレイ、フィーリングプレイについては、それぞれのページで説明しています。  
「ヒットチャートプレイ (P75)」「フィーリングプレイ (P82)」
- リピート再生、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生は、ヒットチャート再生 (P76) 中でも行うことができますが、フィーリングプレイ (P82) 中では行えません。

## AVメニューを表示する

ミュージックサーバーのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー** を押す

AVメニューが表示されます。

AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があります。



- **編集** : 各リストの編集を行うことができます。「各リストを編集する (P90)」
- AVメニューのAV初期設定から「システム設定」を表示させることができます。  
**システム設定** : 「システム設定画面を表示する (P108)」

## ソースメニューでのいろいろな再生操作

ソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。

### リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをトラックリピートにすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

### 1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT TRACK REPEAT  
PLAYLIST REPEAT GROUP REPEAT  
戻る

GROUP : 通常の再生状態です。再生中 REPEAT のグループを繰り返します。

PLAYLIST : 再生中のプレイリストを REPEAT 繰り返します。

TRACK : 再生中のトラックを繰り返し REPEAT ます。





設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。



- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。
- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作( TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、ソースプレートに表示されません。

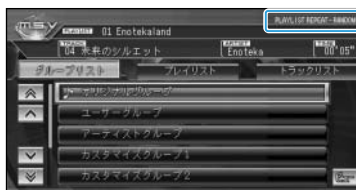
## ランダム再生

選んだりPEATの範囲内( P72 )で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

### 1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります( ONにすると「( リピート範囲 )RANDOM」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「( リピート範囲 )RANDOM」が表示されます。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします。
- ランダム再生中にその他の再生操作( リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲をこえる操作( プレイリストの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## ダイジェストスキャン再生

選んだリピートの範囲( P72)で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライトの部分を約15秒間ずつ聞くことができます。聴きたいトラックやプレイリストを探すときに使います。



- ハイライトとは、ミュージックサーバーへの録音時に、本機が曲調・ハイライト検出処理で検出した部分のことをいい、ハイライトを検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生します。

## 1 リピートの範囲を以下のように指定する( P72)

### 聴きたい曲(トラック)を探すとき

再生中のプレイリスト内の各トラックのハイライト部分を約15秒ずつ再生します。

リピート範囲をPLAYLIST REPEATに指定します。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ダイジェストスキャン再生をONにすると、PLAYLIST REPEATにリピートの範囲が切り替わります。

### 聴きたいプレイリストを探すとき

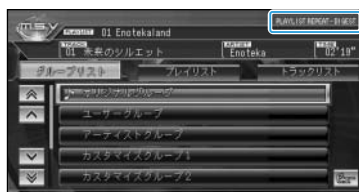
グループ内の全プレイリストの1曲目(トラック)のハイライト部分を約15秒ずつ再生します。

リピートの範囲をGROUP REPEATに指定します。

## 2 ダイジェストを選ぶ



選ぶごとに、ダイジェストスキャンのON/OFFが切り替わります(ONにすると「(リピート範囲)-DIGEST」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-DIGEST」が表示されます。



- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたダイジェストスキャン再生をします。

## 3 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度ダイジェストを選ぶ

ダイジェストスキャン再生がOFFになり、選んだトラックまたはプレイリストが再生されます。



- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(プレイリストの切り替えなど)操作を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。

# ヒットチャートプレイ

## ヒットチャートとは

ヒットチャートとは、本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャートをもとにお客様が録音した曲を再生したりヒットチャートを見ることができるミュージックサーバーの機能の一つです。

ヒットチャートの情報にのっている曲を録音して、プレイリストを作成しておけば、カウントダウン再生、カウントアップ再生など楽しむことができます。また、最新のヒットチャートをインターネットなどからダウンロードしておけば、画面に表示することができます。

ヒット チャート プレイ (再生 でき ます)	年別の ヒット曲	1994年～2003年 までの最大100位ま での年間チャート、タ イアップ(テレビ、CM など)別チャート
	最近の ヒット曲	3ヶ月前までの発売日順 のリスト(100曲まで)
最新週間チャート (再生できません)	3週間前までの30位	
最新月間チャート (再生できません)	3ヶ月前までの50位	

ヒットチャートのインターネットのデータベースへのアクセスは、2006年3月までご利用できます。ダウンロードのしかたについては、「最新チャートをダウンロードする」(P79)「チャート情報を更新する」(P81)を参照してください。



- ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。
- インターネットから取得したヒットチャート情報(年間チャート、最近のヒット曲、月間チャート3ヶ月分、週間チャート3週間分)はハードディスク内に保存されています。
- 通信で取得するときに携帯電話または通信カードなど通信機器を接続していないと「通信で取得するには通信機器の接続を確認してください。」メッセージが表示され、通信を使ったチャート情報の取得はできません。 **確認** または **決定** を押してください。
- インターネットから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「通信機器が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。しかし、自動的にリンクされなかった場合は、自分でリンクを付けることができます。「リンクを付ける」(P80)を参照してください。
- タイトルがない曲はヒットチャートプレイできません。
- 2004年のチャート情報は2005年に降に取得できます。
- 年別のヒット曲は、最大10年分のチャート情報を記憶しています。そのため、2004年のチャート情報を取得すると、1994年のチャート情報は削除されます。

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽  
プレイ

D  
V  
D

ミ  
ュ  
ジ  
ッ  
ク  
サ  
ー  
バ  
ー

シ  
ス  
テ  
ム  
設  
定

そ  
の  
他  
の  
機  
能

付  
録

## ヒットチャートで再生する (ヒットチャートプレイ)

ヒットチャートの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です( P69)。ヒットチャート再生用のプレイリストが表示され、チャート内に録音済み(再生可能)の曲がある場合は、★が表示され、再生することができます。



- ヒットチャート再生を解除(通常再生)するには、ソースメニューの **通常再生** を選びます。( P78)
- ヒットチャートは通信で更新することができます。更新のしかたは「**チャート情報を更新する**」( P81)を参照してください。
- すでにヒットチャート再生用のプレイリストが表示されている場合は、**グループリスト** から ★ のついている項目を選び、**チャートリスト** から ★ のついているヒットチャートを選び、**トラックリスト** から ★ のついている曲を選びます。

## 1 AVメニューを表示する( P72)

## 2 ヒットチャートプレイを選ぶ

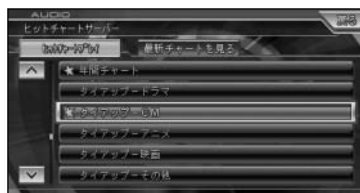


## 3 ヒットチャートプレイを選ぶ

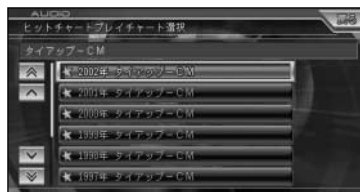


- **最新チャートを見る** を選ぶと、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます( P78)。

## 4 年間ランキングやタイアップテレビなどの項目(グループ)から★マークのついている項目(グループ)を選ぶ

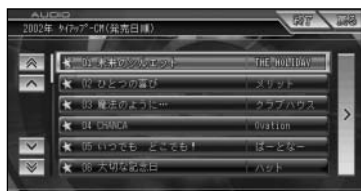


## 5 ★マークのついているヒットチャートを選ぶ



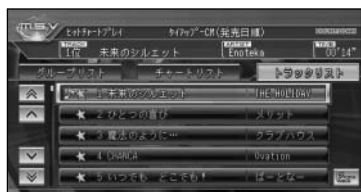
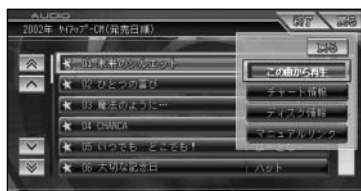
- 走行中は、選んだヒットチャートで再生が始まり、通常操作画面が表示されます。

## 6 再生を開始したい★マークの ついている曲を選ぶ



- ▶ を選び、表示されるサブメニューから **このチャートを再生** を選んで、チャートをカウントダウン(またはカウントアップ)で再生することもできます。

## 7 この曲から再生 を選ぶ



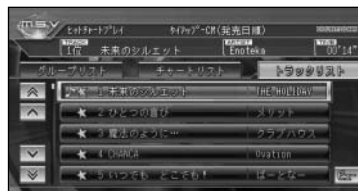
選んだ曲が再生され、通常操作画面が表示されます。



- 通常の再生順序は、選んだ曲からヒットチャートの上位へとカウントダウンしていきます。

## ヒットチャートの 通常操作画面について

ヒットチャートの通常操作画面は、チャート種別、順位(「最近のヒット曲」・「タイアップチャート」は除く)トラックタイトル・アーティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、★が表示されます。

リストの中の聴きたい曲を選ぶとき  
リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す( P22 )  
リモコンまたはモニター( AVIC-XH900 )  
で選ぶ場合：

- ▲ : 次の年のヒットチャートを選ぶとき
- ▼ : 前の年のヒットチャートを選ぶとき
- ◀ : リスト内で前の曲を選ぶとき
- ▶ : リスト内で次の曲を選ぶとき



- **最近のヒット曲** を選んだときに、取得されていないチャートがある場合や期限が切れている場合は、通信で取得するための確認画面になります。**はい** を選ぶか(決定)を押すとチャート情報を通信を使って取得します( P79 )。

はじめに

基本操作

AVICXH900  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サイバー

システム設定

その他の機能

付録

## カウントダウン、カウントアップ で再生する

ヒットチャートプレイのリストで、録音済みの曲が複数あるときは、チャートに沿ったカウントダウン(下位から上位へ)カウントアップ(上位から下位へ)で再生することができます。ヒットチャートプレイで年代別ヒットチャートを選んでいるときなどは、通常カウントダウンで再生されます。

### 1 ヒットチャートで聴きたいリスト を選ぶ

### 2 AVメニューを表示する( P72)

### 3 カウントアップ または カウントダウン を選ぶ

## 通常のミュージックサーバー 再生に戻る

ヒットチャートプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻るには、以下のように操作します。

### 1 AVメニューを表示する( P72)

### 2 通常再生 を選ぶ



通常再生に戻ります。

## 最新のヒットチャートを見る

インターネットから取得し、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます。

ダウンロードのしかたについては、「最新チャートをダウンロードする」(P79)を参照してください。

### 1 ヒットチャートサーバーを表示 する( P76)

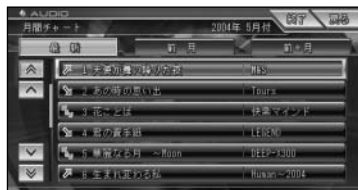
### 2 最新チャートを見る を選ぶ



### 3 週間チャートを見る または 月間チャートを見る を選ぶ



### 4 見たい週や月を選ぶ





- 通信で取得するときに通信カードなど通信機器を接続していないと「通信で取得するには通信機器の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったチャート情報の取得ができません。**確認**を選ぶか**決定**を押してください。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「通信機器が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- 選べる週には「最新」「前週」「前々週」月には「最新」「前月」「前々月」があります。

## 最新チャートをダウンロードする

- 1 **ヒットチャートサーバー**を表示する( P76 )
- 2 **最新チャートを見る**を選ぶ
- 3 **週間チャートを見る** または **月間チャートを見る**を選ぶ
- 4 **はい**を選ぶか**決定**を押す



通信が開始されます。

**中止**を選ぶか**戻る**を押すと元の画面に戻ります。

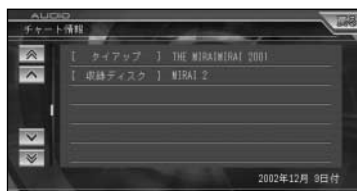
ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

## 情報画面を見る

各リストまたは「最新チャート画面」から曲を選んで情報画面を表示させることができます。

情報画面には以下の2つがあります。

### チャート情報画面



最高順位、登場回数、推定売上枚数、発売日などが表示されます。

はじめに

基本操作

テレビ  
AVC/H900

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

つづく→



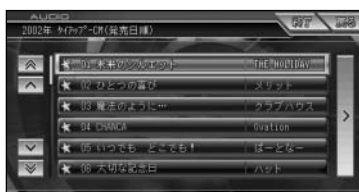
## ディスク情報画面



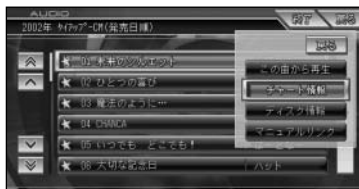
CDの型番、発売元、価格が表示されます。

**1** 情報を表示したい曲をリスト表示する(チャートリストや週間チャートなど)

**2** 曲名を選ぶ



**3** チャート情報 または ディスク情報 を選ぶ



情報画面が表示されます。

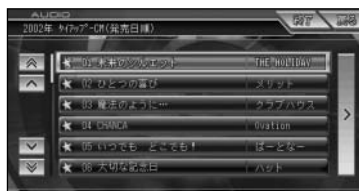
## リンクを付ける

リンクはタイトル情報取得時に自動的に行われます。ただし、発売直後のCDなどは、タイトル情報は取得できませんがリンク情報は取得できない場合があります。

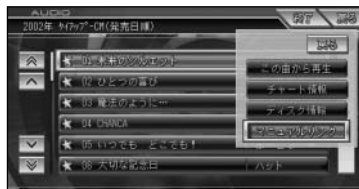
そのような場合は、ヒットチャートと曲のリンクを自分で行うことができます。

**1** リンク付けたい曲をリスト表示する

**2** 曲名を選ぶ



**3** マニュアルリンク を選ぶ



**4** リンク先選択 を選ぶ

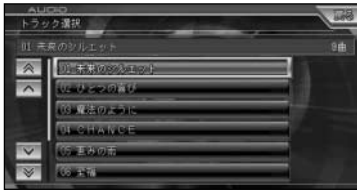




## 5 リンクする曲のプレイリストを選ぶ



## 6 リンクする曲を選ぶ



リンク付けが完了すると、手順 **4** の画面に戻ります。続けてリンク付けすることができます。終了を選ぶか戻るを押すとリンク付けを終了し、通常操作画面に戻ります。



- この操作でリンク付けしたトラックが優先して再生されます。

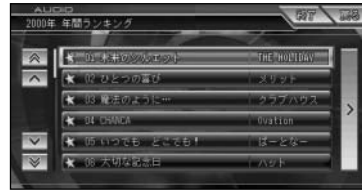
## チャート情報を更新する

ヒットチャートの情報を更新します。最近発売されたCDなどをヒットチャートプレイで再生するには、チャート情報を更新してください。(チャート情報を更新してもヒットチャートプレイの対象曲とならないCDもあります。)そのような場合は、ヒットチャートと曲のリンクを自分で行うことができます。

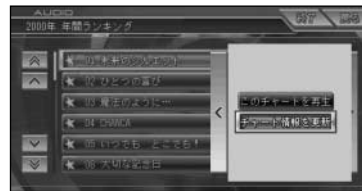
「リンクを付ける」(P80)

## 1 ヒットチャートのトラックリストを表示する(P77)

## 2 > を選ぶ



## 3 チャート情報を更新 を選ぶ



通信が開始されます。

中止を選ぶか戻るを押すと元の画面に戻ります。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

ヒットチャートプレイ

はじめに

基本操作

テレビ  
AVCHD

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# フィーリングプレイ

## フィーリングプレイとは

録音時に抽出した特徴から、お客様のフィーリング(明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される)にマッチするような曲を自動的に選曲し、再生するミュージックサーバーの機能の一つです。最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長していく機能です。以下の場合、録音時にフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- アナログ録音( P68 )されたもの



- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調節されています。
- 英会話や落語、漫談などをフィーリングプレイで再生したくない場合は、対象外設定を行うことができます。( P84 )

## フィーリングプレイで再生する

フィーリングプレイの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です( P69 )。選べるプレイリストがフィーリングリストになります。



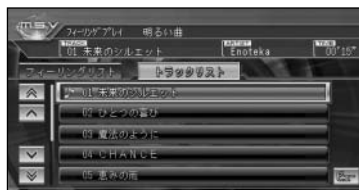
- フィーリングプレイを解除(通常再生)するには、ソースメニューの**通常再生**を選びます。( P83 )

## 1 AVメニューを表示する( P72 )

## 2 フィーリングプレイを選ぶ



## 3 聴きたい曲調を選ぶ



選んだ曲調の曲が再生され、フィーリングプレイの通常操作画面が表示されます。

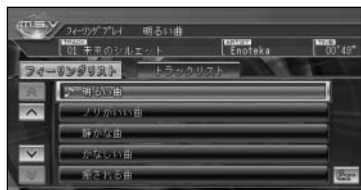


- 選んだ曲調に曲がない場合は、メッセージが表示されます。


## フィーリングプレイの 通常操作画面について

フィーリングプレイの再生画面は、フィーリングリストとトラックリストの表示があります。

### フィーリングリスト




リストには本機で選択できる曲調の名前が、表示されます。

現在再生中の曲調には  が表示されます。表示されている曲調を選択すると、その曲調にマッチした曲が選択されます。

### トラックリスト




選択した曲調にマッチした曲のリストが表示されます。

現在再生中のトラックには  が表示されます。


トラックリストから選曲した場合は、その曲からリスト順に再生されます。


### リストの中の聴きたい曲を選ぶ とき

リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して  を押す ( P22 )

本体またはリモコンで選ぶ場合：

 ：トラックリスト内で前のトラックを選ぶとき

 ：トラックリスト内で次のトラックを選ぶとき

## 通常のミュージックサーバー 再生に戻る

フィーリングプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻るには、以下のように操作します。

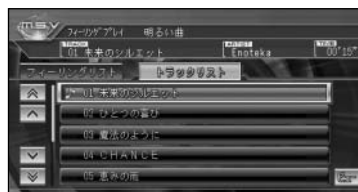
- 1 AVメニューを表示する( P72 )
- 2 通常再生 を選ぶ

通常再生に戻ります。

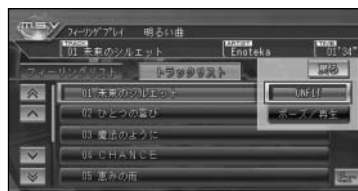
## 再生曲が選択した曲調と 合わないとき

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

- 1 トラックリストを表示し再生中のトラックを選ぶ



- 2 UNFIT を選ぶ



再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のフィーリングリスト作成に反映します。

再生は次のトラックに切り替わります。

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽プレイス

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付  
録

## フィーリングプレイの設定

フィーリングプレイで再生したくないプレイリストがある場合、そのプレイリストをフィーリングプレイの対象外設定することができます。また、学習値をクリアすることができます。

### フィーリングプレイ設定画面を表示する

#### 1 フィーリングプレイ画面を表示する( P82)

#### 2 設定を選ぶ



フィーリングプレイ設定画面が表示されます。

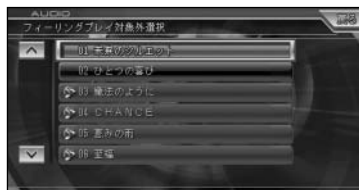
## フィーリングプレイ対象外設定

プレイリストに含まれる曲全体をフィーリングプレイ対象から外すことができます。

#### 1 フィーリングプレイ対象外設定を選ぶ



#### 2 リストからプレイリストを選ぶ



選ばれたプレイリストには禁止マークが付き、フィーリングプレイでは再生できなくなります。



- もう一度禁止マークの付いたプレイリストを選ぶと、設定した対象外設定は解除されます(禁止マークが消えます)。
- アナログ録音されたプレイリストは選ぶことはできません。

## 学習クリア

本機がフィーリングプレイにより学習してきた学習値をクリアします。

### 1 学習クリアを選ぶ



### 2 はいを選ぶか(決定)を押す



学習値をクリアします。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVEXH900)

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

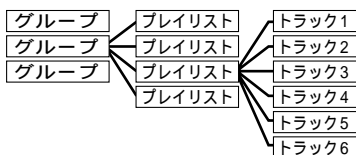
その他の機能

付録

# 各リストを作成する

ミュージックサーバーのリストには、グループリスト、プレイリスト、トラックリストがあり、それぞれが階層でつながっています。

トラックの集まりがプレイリストで、プレイリストの集まりがグループリストということになります。

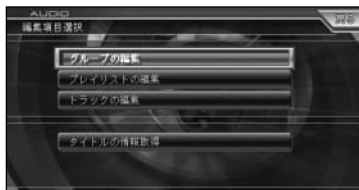


## 編集項目選択画面を表示する

各リストを作成、編集するときは、編集項目選択画面を表示して行います。

### 1 AVメニューを表示する( P72)

### 2 編集 を選ぶ



編集項目選択画面が表示されます。

## グループとプレイリストについて

各グループのプレイリストの作成は、以下のとおりです。

### オリジナルグループ

オリジナルプレイリスト

CDなどの録音時に自動で作成されます。999まで作成されます。

### アーティストグループ

アーティストプレイリスト

CD録音時にトラックのアーティスト情報をもとに自動で作成されます。オリジナルプレイリスト作成と同時に999まで作成されます。

### ユーザーグループ

ユーザープレイリスト

お好みのトラックを選んで作成します。99まで作成できます。

### カスタマイズグループ

カスタマイズグループのプレイリスト：オリジナルプレイリストやユーザープレイリストからお好みのプレイリストを選んで、既にあるカスタマイズグループ1～5の中でグループ分けをして作成します。

## ユーザーグループに プレイリストを作成する

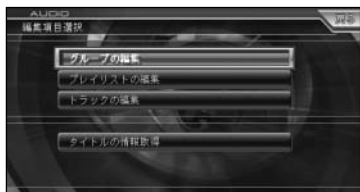
ユーザーグループのプレイリスト作成は、オリジナルグループのプレイリストやアーティストグループのプレイリストからお好みのトラックを選び、ユーザープレイリストを作成します。



- プレイリストは、99個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲(トラック)まで登録できます。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

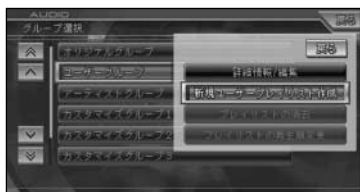
### 2 グループの編集 を選ぶ



### 3 ユーザーグループ を選ぶ



### 4 新規ユーザープレイリスト作成 を選ぶ



### 5 タイトルを入力し、**入力終了**を を選ぶ

『ナビゲーションブック』



- 全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

### 6 トラックを探す方法を選ぶ



**オリジナルグループから探す**：

オリジナルグループのプレイリストが表示されます。

**アーティストグループから探す**：

アーティストグループのプレイリストが表示されます。1アーティスト最大400曲。

**ユーザーグループから探す**：

すでにユーザーグループにプレイリストが作成してある場合に、そのプレイリストが表示されます。

**ジャンルから探す**：

トラックのジャンルのキーワードリストが表示されます。1ジャンル最大400曲。

**最近録音した曲から探す**：

最近録音した50トラックのリストが表示されます。



- 最近録音した曲から探す**を選んだ場合は、手順**7**のリストは表示されず、最近録音した50トラックのリストが表示されます。手順**8**に進んでください。

つづく→

各リストを作成する

## 7 表示されたリストから項目を選ぶ



## 8 登録したいトラックを選ぶ



選択すると、チェックマーク「」が付き、引き続き選ぶことができます。

もう一度選ぶと、選択が解除されます。

他のリストからもトラックを選びたい場合は、**戻る**を選んで手順**6**または**7**まで戻り、他のリストからトラックを選びます。



- **>** を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されすべての曲を選択することができます。ただしリストに100曲以上ある場合は、選択できません。  
選択を解除するには、**全解除**または解除したい曲を選びます。

## 9 終了を選ぶ

確認画面が表示されます。

## 10 はいを選ぶか **決定** 押す



ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。  
ミュージックサーバーの通常操作画面に戻ります。



## カスタマイズグループにプレイリストを作成する

カスタマイズグループのプレイリスト作成は、オリジナルプレイリストやユーザープレイリストからお好みのプレイリストを選び、既にあるカスタマイズグループ1～5の中でグループ分けすることで作成します。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

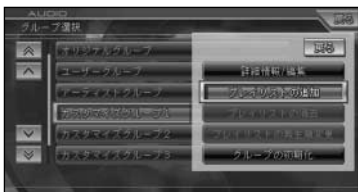
### 2 グループの編集 を選ぶ

### 3 カスタマイズグループ を選ぶ



「カスタマイズグループ」の「1」は、表示されている1～5のことを表します。

### 4 プレイリストの追加 を選ぶ



### 5 プレイリストを探すグループを選ぶ

オリジナルグループ、ユーザーグループそれぞれのプレイリストを表示して探すことができます。



### 6 登録したいプレイリストを選ぶ



選択すると、チェックマーク「」が付き、引き続き選ぶことができます。

もう一度選ぶと、選択が解除されます。他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る**を選んで手順**5**まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。

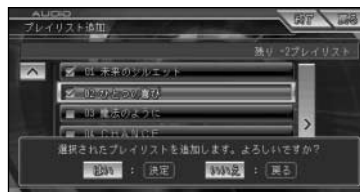


▶ を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されるすべてのプレイリストを選択することができます。ただしリストにプレイリストが100以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除**または解除したい曲を選びます。

### 7 終了 を選ぶ

確認画面が表示されます。

### 8 はい を選ぶか **決定** 押す



選んだプレイリストが追加されます。

# 各リストを編集する

グループリストでは、カスタマイズグループの名称やよみの編集、プレイリストの追加、グループの初期化が行えます。

プレイリストでは、プレイリストの詳細情報画面でタイトル、よみ、アーティスト名、ジャンル、画像などの編集ができます。またグループの編集にてプレイリスト再生順の変更や消去なども行えます。

トラックリストでは、トラック情報画面でタイトル、よみ、アーティスト名、ジャンルなどの編集ができます。またプレイリストの編集にてトラックの再生順を変更したり、ユーザープレイリストでのトラックの追加や消去が行えます。



●編集するグループやプレイリスト、トラックによって、編集できる内容が異なります。

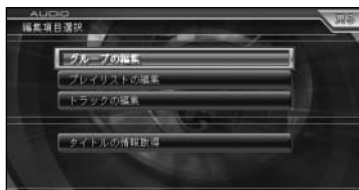
## グループリストを編集する

グループリストの編集は、カスタマイズグループの名称やよみの変更、プレイリストの追加や初期化などの編集が行えます。オリジナルグループ、アーティストグループ、ユーザーグループは編集はできませんが、読みの確認や登録数の確認はできます。

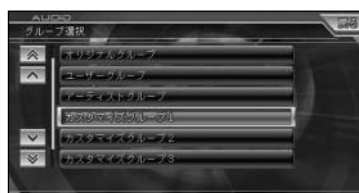
### グループリストの詳細情報画面を表示する

#### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

#### 2 グループの編集を選ぶ



#### 3 編集するカスタマイズグループを選ぶ



#### 4 詳細情報/編集を選ぶ



グループ詳細情報画面が表示されます。

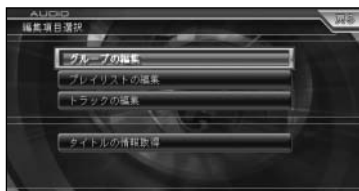
### カスタマイズグループの名称、よみを変更する

カスタマイズグループ1～5は、その名称をお好みに変更することができます。

タイトルは表示に、よみは音声操作に使用します。

#### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

## 2 グループの編集 を選ぶ



## 3 名称 または よみ を選ぶ



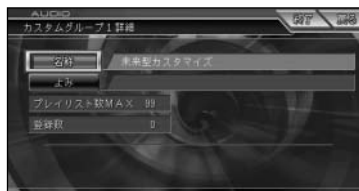
## 4 名称またはよみを入力し、 入力終了 を選ぶ

『ナビゲーションブック』



- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- あらかじめ入力されている“カスタマイズグループ”のあとに続けて入力した場合は、プレイリストの表示が“カスタマイズグループ XXXX”となります。“カスタマイズグループ”を消したいときは、名称入力の時に **削除** を選んで消したのち、名称入力をはじめてください。

## 5 終了 を選ぶ



名称、よみが変更され、手順**2**の画面に戻ります。

## カスタマイズグループに プレイリストを追加する

カスタマイズグループには、他のグループからプレイリストを選んで追加することができます。

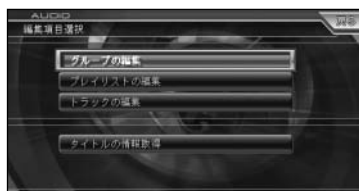
手順は、「カスタマイズグループにプレイリストを作成する」(P89)とほぼ同様です。「カスタマイズグループにプレイリストを作成する」の手順**3**で選んだカスタマイズグループにプレイリストを追加することができます。

## カスタマイズグループを 初期化する

お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して工場出荷時の状態に戻すことができます。

## 1 編集項目選択画面を表示する ( P86 )

## 2 グループの編集 を選ぶ



つづく→

各リストを編集する

はじめに

基本操作

AVICX-H000  
テレビ

音楽プレイスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

### 3 初期化するカスタマイズグループを選ぶ



### 4 グループの初期化を選ぶ



確認画面が表示されます。

### 5 はいを選ぶか(決定)を押す

選んだグループが初期化されます。

## プレイリストを編集する

各グループに登録されているプレイリストの情報(タイトル、よみ、アーティスト名、ジャンル、画像の設定など)を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、ユーザープレイリストでトラックの追加・消去を行うことができます。

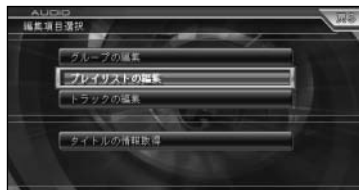


- カスタマイズグループ内のプレイリストは編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。
- アーティストグループのプレイリストを選んだ場合、編集できるのは「よみ」のみです。アーティストの情報を編集したい場合は、他のグループのプレイリスト詳細情報画面を表示してから行ってください。

## プレイリスト詳細情報画面を表示する

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 8 6 )

### 2 プレイリストの編集を選ぶ



### 3 編集したいプレイリストが登録されているグループを選ぶ

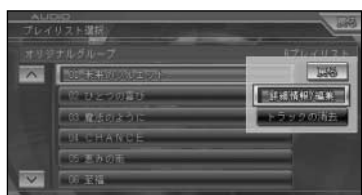


### 4 編集するプレイリストを選ぶ



- メモ** •グループ詳細情報画面 ( P90 ) から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示することもできます。

### 5 詳細情報/編集を選ぶ



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

- メモ** • **プレイリスト内トラック編集** を選ぶと、選んだプレイリスト内のトラックの情報を編集することができます( P98 )。

### タイトルやよみを変更する

タイトルは表示や検索に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDなどの再生時のタイトル表示に反映されます。

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する( P92 )

- メモ** •アーティストグループのプレイリスト詳細編集画面を表示した場合は、「よみ」のみ変更できます。

### 2 タイトルまたはよみを選ぶ

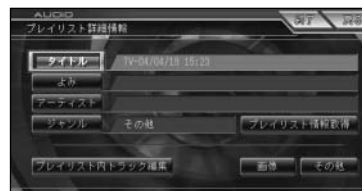


### 3 文字を入力して**入力終了**を選ぶ

『ナビゲーションブック』  
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

- メモ** •タイトルは全角16文字(半角32文字)まで入力できます。  
•よみは全角32文字(半角64文字)まで入力できます。

### 4 編集を終了する場合は**終了**を選ぶ



- メモ** • **戻る** を選ぶとプレイリスト選択画面が表示され、引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## アーティスト名を変更する

アーティストグループを変更したいときに、アーティスト名を変更します。

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する( P92 )



•アーティストグループのプレイリスト詳細編集画面を表示した場合は、アーティスト名の変更はできません。他のグループのプレイリスト詳細編集画面を表示してから行ってください。

### 2 アーティストを選ぶ



### 3 アーティスト名の編集方法を選ぶ



**マニュアル** 文字入力画面になります。文字を入力して**入力終了**を選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。「アーティスト」は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

**リスト選択** 現在登録されているアーティストのリスト画面になります。アーティストをリストから選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。



•**消去**を選ぶと、アーティスト選択画面が表示され、消去するアーティストを選択できます。他のプレイリストにも登録されているアーティストは消去できません。

### 4 編集を終了する場合は**終了**を選ぶ



•**戻る**を選ぶとプレイリスト選択画面が表示され、引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## ジャンルを設定する

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する( P92 )

### 2 ジャンルを選ぶ



### 3 ジャンルを選ぶ



## 4 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- **戻る** を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## 画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、オーディオ画面の背景に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。デジタルカメラなどで撮影した画像を使用することもできます。



- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているCF型メモリーカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- ファイル名が長いと画像リストにファイル名が表示されない場合があります。
- 画像リストに表示される、画像は最大200枚です(ハードディスク内の画像ファイル含む)。表示されないときは、CF型メモリーカード内の画像ファイルを削除してください。
- CF型メモリーカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- プロGRESSIVE JPEG形式の画像は使用できません。

## 1 CF型メモリーカードをセットする(『スタートブック』)

## 2 プレイリスト詳細情報画面を表示する(P92)

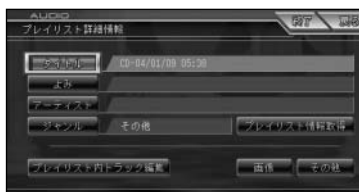
## 3 画像を選ぶ



## 4 リストから好みの画像を選ぶ



## 5 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- **戻る** を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。



## プレイリストの再生順を変更する

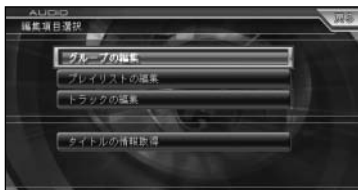
オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。



- アーティストグループは、再生順を変更することはできません。
- 通常の再生では、グループリストの登録されたプレイリストの順番で繰り返し再生します。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

### 2 グループの編集を選ぶ



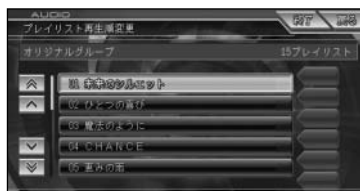
### 3 プレイリストの再生順を変更するグループを選ぶ



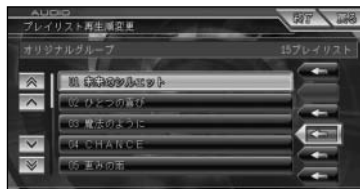
### 4 プレイリストの再生順変更を選ぶ



### 5 順番を変更したいプレイリストを選ぶ



### 6 移動先を選ぶ



### 7 編集を終了する場合は 終了 を選ぶ



- 戻る を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。



## プレイリストを消去する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストを消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナル : プレイリスト内のトラックデータの消去も消去します。

ユーザー : プレイリストのみ消去し、トラックデータのプレイリストは消去しません。

カスタマイズ : プレイリストのみ消去し、トラックデータのプレイリストは消去しません。



- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- アーティストグループから消去はできません。

## 1 編集項目選択画面を表示する ( P 8 6 )

## 2 グループの編集を選ぶ



## 3 消去するプレイリストが含まれたグループを選ぶ



## 4 プレイリストの消去を選ぶ



## 5 消去したいプレイリストを選ぶ

消去確認のメッセージが表示されます。

## 6 はいを選ぶか (決定) を押す

選んだプレイリストが消去されます。

## トラックを編集する

トラック情報の編集やユーザープレイリスト内のトラック再生順の変更や、トラックの追加・消去を行うことができます。

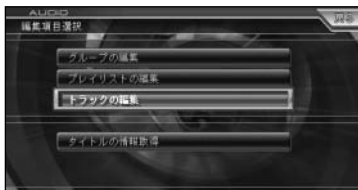
### トラックの情報を編集する

各プレイリストに登録されているトラックの情報(タイトル、よみ、アーティスト名、ジャンルなど)を編集します。

編集は、トラック詳細情報画面を表示して行います。

## 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

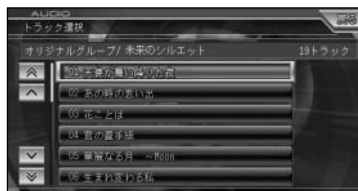
## 2 トラックの編集を選ぶ



## 3 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選ぶ



## 4 編集するトラックを選ぶ



メモ  
•プレイリスト詳細情報画面( P 92 )から **プレイリスト内トラックの編集** を選んで、この画面を表示することもできます。

## 5 編集したい項目を選ぶ

タイトルやよみを変更する P 93

アーティスト名を変更する P 94

ジャンルを設定する P 94

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(P 92) とほぼ同様ですので、参照してください。

## ユーザープレイリストのトラック再生順を変更する

ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。



- オリジナルプレイリスト、アーティストプレイリストは、再生順を変更することはできません。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

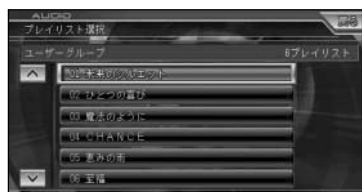
### 2 プレイリストの編集 を選ぶ



### 3 ユーザーグループ を選ぶ



### 4 再生順番を変更するプレイリストを選ぶ



- ユーザーグループのグループ詳細情報画面( P 90 )から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

### 5 トラックの再生順変更 を選ぶ



### 6 順番を変更したいトラックを選ぶ



### 7 移動先を選ぶ



### 8 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- **戻る** を選ぶと引き続き他のトラックの情報を編集することができます。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVCHD)  
(H264)

音楽デバイス

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## ユーザープレイリストに トラックを追加する

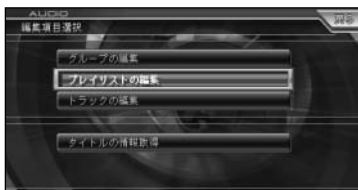
ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。



- オリジナルグループ、アーティストグループのプレイリストには追加できません。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

### 2 プレイリストの編集 を選ぶ



### 3 ユーザーグループ を選ぶ



### 4 トラックを追加したいユーザー プレイリストを選ぶ



- ユーザーグループのグループ詳細情報画面( P 90 )から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

### 5 トラックの追加 を選ぶ



トラック追加方法の選択画面が表示されます。以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」( P 87 ) の手順 **6** 以降と同様です。

## プレイリストから トラックを消去する

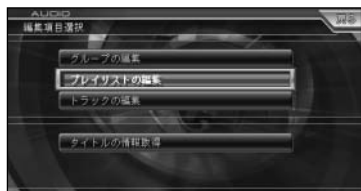
オリジナルグループ、ユーザーグループの  
プレイリスト内のトラックを消去します



- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P 86 )

### 2 プレイリストの編集 を選ぶ



### 3 消去するトラックが含まれたプレイリストのグループを選ぶ

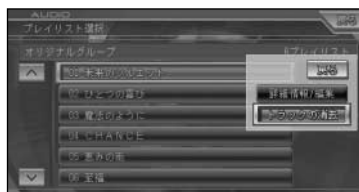


### 4 消去するトラックが含まれたプレイリストを選ぶ

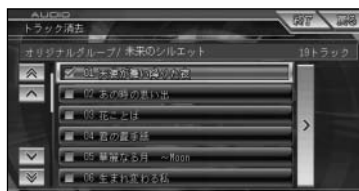


- オリジナルグループ、ユーザーグループのグループ詳細情報画面 ( P 90 ) から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

### 5 トラックの消去 を選ぶ



### 6 消去したいトラックを選ぶ



- 選択すると、チェックマーク(  )が付き、引き続き選ぶことができます。再度選ぶと、選択が解除されます。
- > を選んでサブメニューを表示すると、**全選択** が表示されすべての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

つづく→

各リストを編集する

はじめに

基本操作

AVCHD  
レコー  
ド

音楽  
リス  
ク

D  
V  
D

ミ  
ニ  
マ  
ー  
ク

シ  
ス  
テ  
ム  
設  
定

そ  
の  
他  
の  
機  
能

付  
録

## 7 終了を選ぶ

消去確認のメッセージが表示されます。

## 8 はいを選ぶか (決定) を押す

選んだリストが消去されます。

## タイトル情報について

プレイリストのタイトル情報を、本機ハードディスク内またはインターネットのGracenote CDDDBのデータベースから取得することができます(タイトルサーチ)。

タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

### 取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト名
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル名
- アーティストのよみ



- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で取得するには、本機には通信カードなど通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(『ナビゲーションブック』)

## GracenoteCDDBについて

### 会社概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノートCDDB音楽認識サービスにより、提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

### 特許及び商標

「グレースノート社からのCD及び音楽関連データ情報」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。「グレースノートCDDBクライアントソフトウェア」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。これらの製品及びサービスは、米国特許番号 # 5,987,525、# 6,061,680、# 6,154,773、# 6,161,132、# 6,230,192、# 6,230,207、# 6,240,459、# 6,330,593 並びにその他の特許取得済みまたは申請中の技術の中の1つ或いは複数の技術により提供されます。「Gracenote」及び「CDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracenote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。



- 本機内蔵のGracenote CDDBのデータベース、インターネットのGracenote CDDBのデータベースとともに、データの内容を100%保証するものではありません。

- Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 本商品を利用してのGracenote CDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2006年3月までご利用できません。

はじめに

基本操作

AVCHD  
レコーダ

音楽ファイル

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## タイトル情報を取得する

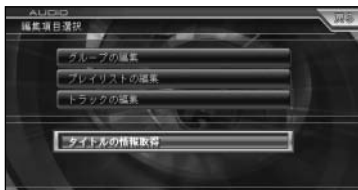
タイトル情報の取得は、まず本機ハードディスク内のデータベースから検索され、該当する情報が見つからなかった場合に、自動的に通信が開始され、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得しに行きます。



•通信で取得するには、本機には通信カードなど通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(『ナビゲーションブック』)

### 1 編集項目選択画面を表示する ( P86 )

### 2 タイトル情報取得 を選ぶ



### 3 情報を取得するプレイリストを選ぶ



自動的に情報の検索が開始されます。



**中止** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

タイトル情報取得中画面の表示後、取得情報結果表示画面が表示されます。

内蔵ハードディスク内に情報があり取得した場合は：



通信により情報を取得した場合：



- プレイリスト詳細情報画面( P92 )やトラック詳細情報画面( P98 )の **プレイリスト情報取得** を選んで情報を取得することもできます。
- 本機内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。ここで該当のタイトル情報が見当たらない場合は、**>** を選んでサブメニューを表示し **通信で取得** を選び通信でGracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得しに行くこともできます。



## 4 登録したいタイトルを選ぶ



情報取得画面に切り替わります。

**戻る** を選ぶと、タイトルは登録されません。プレイリスト詳細情報画面 ( P92 ) やトラック詳細情報画面 ( P98 ) から **タイトル** を選んで、好みのタイトルを入力するか、 **該当タイトルなし** を選んでください。

## 5 終了を選ぶ



- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。失敗すると、「情報の取得に失敗しました。」のメッセージが表示されます。**再取得** を選ぶか (決定) を押すと再度接続できます。
- タイトル候補は最大5タイトル表示できます。



# システム設定

<b>システムの設定をする</b> .....	108
システム設定画面を表示する .....	108
システム設定画面について .....	109
ビデオ入力を設定する (AV入力設定) (AVIC-XH900) .....	110
ミュージックサーバーへの 録音を設定する (録音設定) .....	110
音声案内が良く聞こえるようにする (消音設定) .....	110
映像系ソースの表示モードを設定する (ワイドモード)(AVIC-XH900) .....	111
リア画面への出力を設定する (ナビ画面リア映像出力)(AVIC-XH900) ....	111
ガイド出力を設定する (ガイド出力) (AVIC-XH900) .....	112
<b>FMトランスミッター</b> (AVIC-XH900) .....	113
音声をFM付きカーステレオで聞く (FMトランスミッター設定)(AVIC-XH900) ...	113
FMトランスミッターのレベルを設定する .....	114

# システムの設定をする

システム設定画面で、本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

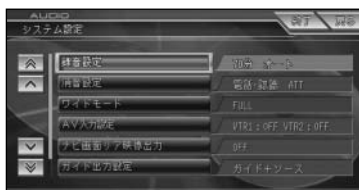
## システム設定画面を表示する

システム設定画面は、各ソースのAVメニューから表示することができます。

### 1 各ソースのAVメニューを表示する

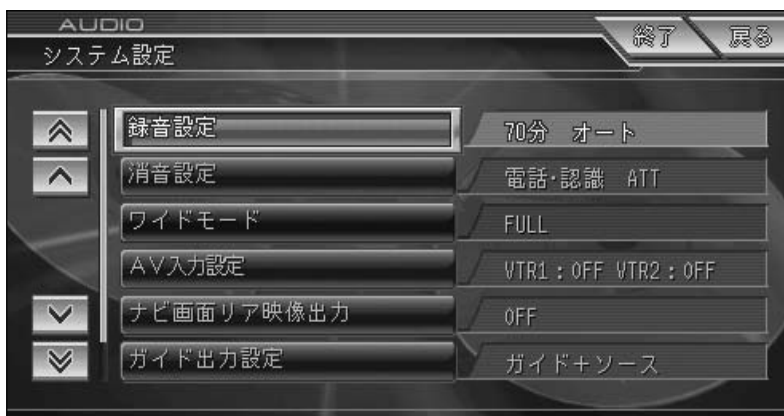
表示のしかたは、各ソースの「AVメニューを表示する」を参照してください。

### 2 システム設定を選ぶ



## システム設定画面について

各設定項目がリストで表示されます。



- ① 録音設定  
ミュージックサーバーへの録音の設定をします。「ミュージックサーバーへの録音を設定する」(P110)
- ② 消音設定  
ナビゲーションの音声案内、音声操作やハンズフリー通話をしているときに、自動でオーディオの音量を下げる設定をします。「音声案内が良く聞こえるようにする」(P110)
- ③ ワイドモード( AVIC-XH900 )  
映像系ソースの画面表示のモードを設定します。「映像系ソースの表示モードを設定する」(P111)
- ④ AV入力設定( AVIC-XH900 )  
VTR( ビデオなど)・バックカメラを接続した場合の設定やバックカメラの極性の設定を行います。「ビデオ入力を設定する」(P110)
- ⑤ ナビ画面リア映像出力( AVIC-XH900 )  
リアモニター接続時に、リアモニターに表示する映像を設定します。「リア画面への出力を設定する」(P111)
- ⑥ ガイド出力設定( AVIC-XH900 )  
モニターの内蔵スピーカーから出力する音声を設定します。「ガイド出力を設定する」(P112)
- ⑦ FMTランスミッター設定( AVIC-XH900 )  
オーディオの音声をFM付きカーステレオで出力するかどうかを設定します。「FMトランスミッター」(P113)

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽プレイスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## ビデオ入力を設定する( AV 入力設定 )( AVIC-XH900 )

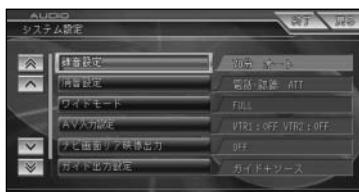
VTR(ビデオなど)や別売のバックカメラユニット「ND-BC1」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

説明は本書の「ビデオなどの入力を設定する」(P123)、「入力設定をバックカメラに切り替える」(P125)に記載しています。



## ミュージックサーバーへの録音を設定する(録音設定)

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(P65)に記載しています。



## 音声案内が良く聞こえるようにする(消音設定)

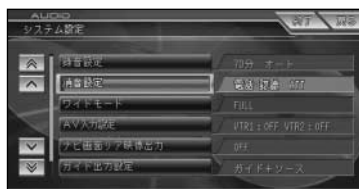
音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

AVIC-H900は、「消音レベル」の設定はできません。組み合わせた製品の「TEL/GUIDE」などを設定してください。工場出荷時は下記の通りです。

- 消音タイミング(電話・認識)
- 消音レベル(ATT)

### 1 システム設定画面を表示する ( P108 )

### 2 消音設定を選ぶ



### 3 消音タイミングと消音レベルを設定する



「消音タイミング」:  
消音するタイミングを設定します。

**ガイド・電話・認識** :

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

**電話・認識** :

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

**OFF** :

オーディオの音量を下げません。

「消音レベル」:  
消音のレベルを設定します。

**ATT** : 音量が1/10になる

**MUTE** : 音量が0になる



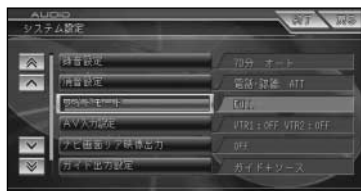
- 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻る を選ぶか を押す

### 映像系ソースの表示モードを設定する (ワイドモード) (AVIC-XH900)

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(P118)に記載しています。

工場出荷時は「FULL」です。



### リア画面への出力を設定する (ナビ画面リア映像出力) (AVIC-XH900)

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声ソース(CD、WMA/MP3、ミュージックサーバー)のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

## 1 システム設定画面を表示する ( P108 )

## 2 ナビ画面リア映像出力 を選ぶ



## 3 ON または OFF を選ぶ



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻る を選ぶか を押す



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

## ガイド出力を設定する (ガイド出力) AVIC-XH900)

モニターの内蔵スピーカーから、ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力するか、ナビゲーションの音声案内のみ出力するかの設定をします。  
工場出荷時は「ガイド+ソース」です。

## 4 戻る を選ぶか を押す

### 1 システム設定画面を表示する ( P108 )

### 2 ガイド出力設定 を選ぶ



### 3 出力する音声を選ぶ



**ガイド** : ナビゲーションの音声案内のみを出力します

**ガイド+ソース** : ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力します



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。



# FMトランスミッター(AVIC-XH900)

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サバーバ

システム設定

その他の機能

付録

## 音声をFM付きカーステレオで聞く (FMトランスミッター設定) (AVIC-XH900)

テレビ、DVD、CD・WMA/MP3、ミュージックサーバーなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することによって、カーステレオのスピーカーで聞くことができるように設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 システム設定画面を表示する ( P108 )

### 2 FMトランスミッター設定を選ぶ



### 3 「FMトランスミッター」の ON または OFF を選ぶ



### 4 「周波数」の < または > を 選んで周波数を設定する

76.4MHz～78.4MHzの間で0.1MHzごとに設定できます。

< : 低くするとき

> : 高くするとき

### 5 戻る を選ぶか 戻る を押す



ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 6 カーステレオをFMに切り替え、 手順 4 で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーで聞けるようになります。



- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- 送信用アンテナの配置場所や受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感が低くなることがあります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ずOFFにしてください。

## FMトランスミッターの レベルを設定する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いて、FM放送と音量が違うと感じたときは、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

### 1 「レベル」の < または > を 選んでレベルを設定する



< : レベルを下げるとき

> : レベルを上げるとき



- - 6 ~ + 6の間で設定できます。

### 2 戻る を選ぶか を押す



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。
- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

## その他の機能

<b>モニターを設定する (AVIC-XH900) ...</b>	<b>116</b>
画質の調節 .....	116
黒の濃さやコントラストを調節する .....	116
色の濃さや色合いを調節する .....	117
液晶画面の明るさを調節する .....	117
ワイド画面の拡大方法を切り替える .....	118
ワイドモードの種類 .....	120
画面の表示モードを切り替える .....	121
ピクチャーサイドピクチャーに変更する .....	121
ピクチャーインピクチャーに変更する .....	121
<b>ビデオなどを見る (AVIC-XH900) .....</b>	<b>123</b>
ビデオなどの入力を設定する .....	123
ビデオなどの見かた .....	124
ミュージックサーバーへの録音 .....	124
<b>バックカメラを使う (AVIC-XH900) ...</b>	<b>125</b>
入力設定をバックカメラに切り替える .....	125
バックカメラの切り替えかた .....	126
<b>リアモニターを組み合わせる (AVIC-XH900) .....</b>	<b>127</b>
リアモニターに表示される映像について .....	127
<b>リアモニター用リモコンを使う (AVIC-XH900) .....</b>	<b>128</b>
<b>音声で操作できる機能 .....</b>	<b>129</b>
<b>リビングキットで操作できる機能 .....</b>	<b>130</b>
リビングキットとは .....	130
再生する .....	130
情報を取得する .....	130
録音する .....	130

# モニターを設定する(AVIC-XH900)

## 画質の調節

映像系(ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ)およびソース画面(CD/WMA/MP3、ミュージックサーバー、その他の画面)の画質をそれぞれ調節することができます



• 走行中は操作できません。

## 黒の濃さやコントラストを調節する



• 周囲が明るいとき(昼間 黄)と暗いとき(夜間 緑)の調節値を個別に記憶させることができます。

• 外光センサーで周囲の明るさを感知し、明るいときと暗いときの設定を自動的に切り替えます。

• 設定内容は以下の通り、別々に記憶されます。

- ナビゲーション
- DVD
- テレビ
- VTR1
- VTR2(またはバックカメラ)
- ミュージックサーバー
- CD・WMA/MP3

• バックカメラの画質調節を行う場合は、「システム設定」の[AV入力設定]で、VTR2を「バックカメラ」に設定しておく、画質調節画面右上に **バックカメラ** が表示され、バックカメラの画質を調節することができます。ただし、お使いのバックカメラによっては、シフトレバーをリバースの位置にしないと設定できないものもあります。「バックカメラを使う」( P125 )

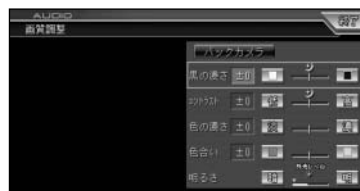
• ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。

## 1 調節したい映像の表示画面で、

**ADJUST** を押す

画質調節画面が表示されます。

## 2 「黒の濃さ」または「コントラスト」の調節ボタン( **低** または **高** など)を選んで調節する



モニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

( 緑 ) : 暗いとき(夜間)

( 黄 ) : 明るいとき(昼間)

黒の濃さ

( 白 ) : 薄くなる

( 黒 ) : 濃くなる

コントラスト ( 明暗 )

**低** : 白黒の差が小さくなる( 暗くなる )

**高** : 白黒の差が大きくなる( 明るくなる )



• - 24 ~ + 24 の間で調節することができます。

• ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

## 3 終了 を選ぶか を押す

## 色の濃さや色合いを調節する



- DVD、テレビ、VTR1、VTR2(またはバックカメラ)で別々に設定内容を記憶します。
- ナビゲーションや音声系ソース( CD、WMA/MP3、ミュージックサーバー)は、調節できません。

### 1 調節したい映像の表示画面で、**V.AJUST** を押す

画質調節画面が表示されます。

### 2 「色の濃さ」または「色合い」の調節ボタン( **淡** または **濃** など)を選んで調節する



色の濃さ

**淡** : 薄くなる

**濃** : 濃くなる

色あい

■ (赤) : 赤が強くなる

■ (緑) : 緑が強くなる



- - 24 ~ + 24の間で調節することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 3 **終了** を選ぶか **戻る** を押す

## 液晶画面の明るさを調節する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見づらくなることがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調節します(3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調節される明るさを設定しておくことができます。

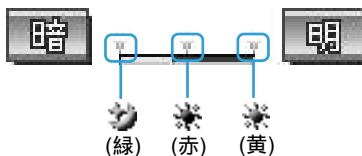
### 1 調節したい映像の表示画面で、**V.AJUST** を押す

画質調節画面が表示されます。

### 2 「明るさ」の **暗** または **明** を選んで調節する



モニター上部の外光センサーで周囲の明るさを感じて、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および矢印( **暗** )の位置で表示します。



● (黄) : 明るいとき(昼間)

● (赤) : 中間の明るさのとき(夕方)

● (緑) : 暗いとき(夜間)

つづく→

はじめに

基本操作

テレビ (AVIC-XH900)

音楽ソース

DVD

ミュージックサーバー

システム設定

その他の機能

付録



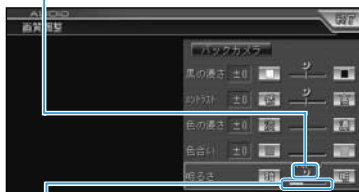
- 明るさを調節するときに基準となる外光レベルは、下記で示すマークと矢印(↑)の位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調節するときのマークと異なる場合があります。

#### 画面の明るさ

**暗** : 暗くなる

**明** : 明るくなる

この画面では、暗いとき(🌑)の画面の明るさを調節しています。



レベルは調節している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。



- 次の外光レベルごとに調節でき、それぞれの設定値を記憶させることができます。
  - 暗い(🌑 緑)
  - 中間(🌑 赤)
  - 明るい(🌑 黄)
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 3 終了を選ぶか(戻る)を押す



- 映像ごとに調節値を記憶させることはできません。

## ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやテレビおよびVTR(ビデオなど)の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

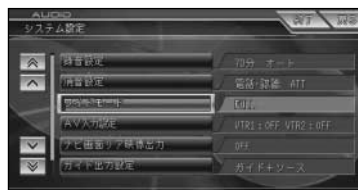


- 通常映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。
- DVD、テレビ、VTR1、VTR2で設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションや音声系ソース(CD、WMA/MP3、ミュージックサーバー)は、ワイドモードの切り替えはできません。

### 1 ソースを切り替える( P24 )

### 2 システム設定画面を表示する( P108 )

### 3 ワイドモードを選ぶ



### 4 お好みの表示方法を選ぶ



それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」( P120 )を参照してください。



- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 5 戻るを選ぶか を押す

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVICXH900)

音楽ディスプレイ

D  
V  
D

ミュージック  
サイバー

システム設定

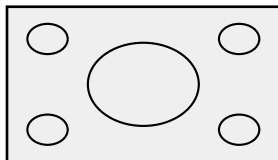
その他の機能

付録

## ワイドモードの種類

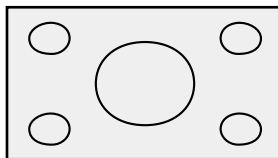
### FULL (フル)

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



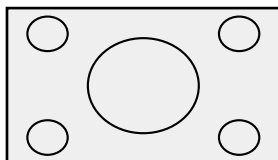
### JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



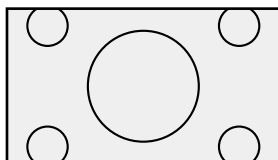
### CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



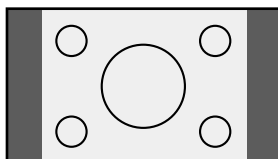
### ZOOM (ズーム)

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



### NORMAL (ノーマル)

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。





## 画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	地図の1画面表示
ピクチャー サイド ピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する
ピクチャー イン ピクチャー	ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する(子画面)

- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **NAV/AV** を押すとソースの1画面に切り替わります。再度押すと2画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **メニュー** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AVメニューを表示させるには **NAV/AV** を押してソースを1画面にしてから **メニュー** を押してください。


### ピクチャーサイドピクチャーに変更する

#### 1 DISP SEL を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

#### 2 「PsideP」の または を選ぶ



1画面に戻すには「1画面」の  を選びます。



- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。

#### 3 戻る を選ぶか を押す

### ピクチャーインピクチャーに変更する

#### 1 DISP SEL を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。


#### 2 「PinP」の 、、、 のいずれかを選ぶ



#### 3 画面サイズ を選ぶ



子画面の大きさを変更することができます。選ぶごとに以下のように切り替わります。  
1/16 1/9 1/4 1/16に戻る

1画面に戻すには「1画面」の  を選びます。

つづく→



- テレビ、ビデオ、DVDを選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ワイド」(テレビアスペクトが16:9)で表示されます。
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

#### 4 戻る を選ぶか を押す

# ビデオなどを見る(AVIC-XH900)

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

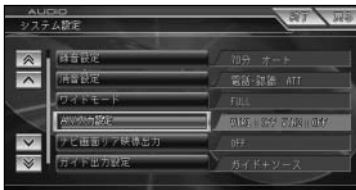
## ビデオなどの入力を設定する

ビデオなどの映像を見るためには、システム設定の「AV入力設定」で設定を行ってください。

## 4 戻る を選ぶが戻る を押す

### 1 システム設定画面を表示させる ( P108 )

### 2 AV入力設定 を選ぶ



### 3 「VTR 1」または「VTR 2」のON を選ぶ



**ON** : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

**バックカメラ** : バックカメラの映像を表示するとき ( P125 )  
(VTR2のみ)

**OFF** : 何も接続されていないとき



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

はじめに

基本操作

テレビ  
(AVIC-XH900)

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## ビデオなどの見かた

VTR1またはVTR2に切り替えてビデオなどの映像を見ます。

### ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、モニターでビデオなどの映像を見られます。走行中は安全のためにモニターには、ビデオなどの映像は表示されません。

## 1 **SOURCE** を押して、ソースを切り替える

ビデオなどの画面が表示されます。

## ミュージックサーバーへの録音

VTR1またはVTR2の音声はミュージックサーバーに録音することができます。

詳しくは「CD以外のソースを録音する(AVIC-XH900)」(P68)を参照してください。

# バックカメラを使う(AVIC-XH900)

本機にバックカメラ(バックカメラユニット「ND-BC1」)を接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

## 入力設定をバックカメラに切り替える

バックカメラの映像を表示するためには、システム設定の「AV入力設定」で、「VTR2」を「バックカメラ」に設定してください。またバックカメラの極性も設定してください。

### 1 システム設定画面を表示させる ( P108 )

### 2 AV入力設定を選ぶ



### 3 「VTR2」のバックカメラを選ぶ




### 4 「バックカメラ極性設定」のLOWまたはHIGHを選んで、車両のバック信号の極性に合わせる



**LOW** : グラウンド(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がLOWとなる車両の場合に選択します。)

**HIGH** : バッテリー(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がHIGHとなる車両の場合に選択します。)

-  •必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号の極性については、ナビゲーションの情報メニューから「ハードウェア情報」で確認できます。『ナビゲーションブック』
- 手順3、4はユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 5 戻るを選ぶか戻るを押す

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ソース

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## バックカメラの切り替えかた

シフトレバーをR(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

### 1 バックギアを入れる



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。



- 写真はイメージです。
- バックカメラ表示中に **NAVI/AV**、**現在地** **メニュー** を押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- 走行中は画質調節できません。
- 本機にはバックカメラの映像を左右反転する機能はありません。

# リアモニターを組み合わせる(AVIC-XH900)

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

## リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビ、DVDまたはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビ、DVDまたはVTRの映像が表示されます。
- システム設定の「リア画面への出力を設定する」(P111)でONに設定してあると、ソースがOFFまたは音声系ソース(CD、WMA/MP3、ミュージックサーバー)のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示することができます。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビ、DVDやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。

### ご注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ソース

DVD

ミュージックサーバー

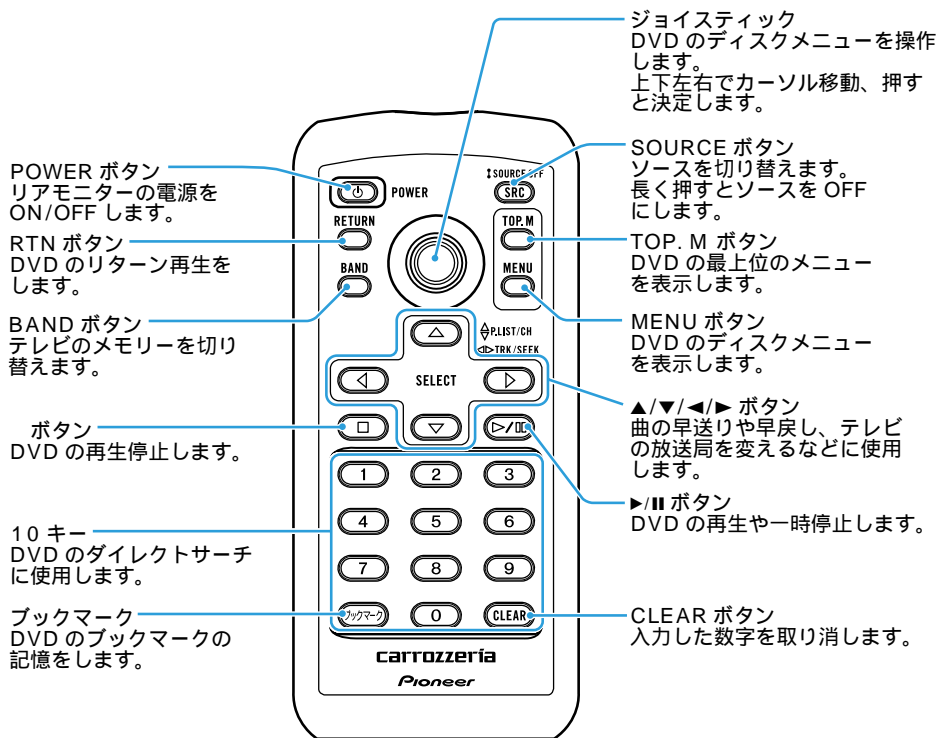
システム設定

その他の機能

付録

# リアモニター用リモコンを使う(AVIC-XH900)

リアモニター用リモコン「CD-RR1」は、本機にリモコン信号出力付きのリアモニター(例:「TVM-W6500」)を組み合わせたときに、テレビやDVD、CD/WMAなどの操作を後席から行うためのリモコンです。リモコン信号出力付きのリアモニターと組み合わせていない場合やリモコン信号出力に対応していないリアモニター(例:「TVM-W8000」)と組み合わせた場合はご使用になれません。



## 数字ボタンで選ぶとき

見たいチャプター番号の数字を押すと指定したチャプターから再生が始まります。

3を選ぶとき 「0」と「3」を押します。


10を選ぶとき 「1」と「0」を押します。

23を選ぶとき 「2」と「3」を押します。



# 音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーと音声認識用マイクを使って操作できる、代表的な機能は次のとおりです。

各ソース共通 (AVIC-XH900)	画面設定関係 画面設定 PsideP PinP 1画面 画面入れ替え ナビ画面 AV画面	VTR (AVIC-XH900) ソース切り替え
DVD、CD、 WMA/MP3	ソースの切り替え トラックの切り替え フォルダの切り替え (WMA/MP3ディスク) チャプターの切り替え(DVD) タイトルの切り替え(DVD)	テレビ (AVIC-XH900) ソース切り替え チャンネル切り替え チャンネル番号ダイレクト 放送局名ダイレクト バンド切り替え
ミュージック サーバー	ソースの切り替え グループの切り替え プレイリストの切り替え トラックの切り替え グループ名の指定 プレイリスト名の指定 トラック名の指定 トラック番号の指定 プレイリストを探す トラックを探す アーティストを探す アーティスト名 ヒットチャートプレイ 年のヒットチャート フィーリングプレイ 明るい曲 ノリがいい曲 静かな曲 かなしい曲 癒される曲	 •詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。

はじめに

基本操作

AVIC-XH900  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# リビングキットで操作できる機能

## リビングキットとは

リビングキットでは、オーディオソース(ミュージックサーバー、音声入力)の操作が行え、操作の状態表示をテレビなどの画面に表示することができます。また、音声入力(ホームテレビやコンポ)による、ミュージックサーバーへの録音も可能です。

ミュージックサーバーを自宅を楽しむ場合など、基本的な操作は、車載時と同様です。オーディオブックの該当箇所を参照してください。

リビングキットの接続や独特の操作など、リビングキットに関する事項は、『リビングキット取扱説明書』と『HDD [サイバーナビ]プロロードバンド関連指定機器のご案内』を参照してください。



- 音声入力はAUXとして、ソースの切り替えができます。
- リビングキットでミュージックサーバーのヒットチャートプレイを楽しむ場合、時刻の情報が取得できていないと、ヒットチャートの再生・閲覧・取得・編集ができません。手動で時刻を取得してください。 『ナビゲーションブック』

## 再生する

ミュージックサーバーに録音されたデータを再生することができます。

ミュージックサーバーの操作に関しては、「ミュージックサーバーの聴きかた」(P69)を参照してください。

## 情報を取得する

ご自宅のインターネット環境を利用して、ヒットチャートやタイトルなどの情報の取得操作が可能です。

情報取得の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「最新のヒットチャートを見る」(P78)「タイトル情報を取得する」(P104)を参照してください。

## 録音する

ご自宅のホームテレビやコンポなどから、音声入力でアナログ録音することができます。

録音操作や録音中の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「CD以外のソースを録音する(AVIC-XH900)」(P68)を参照してください。

# 付録

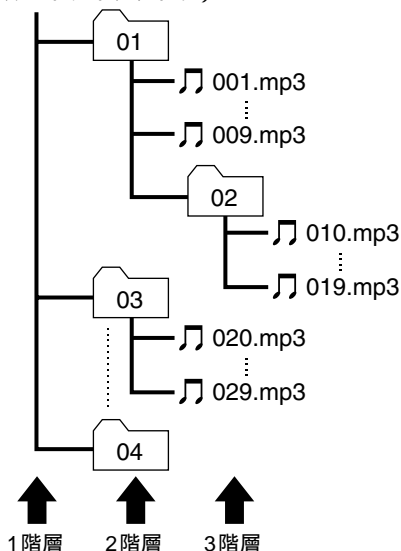
MP3ファイル、WMAファイルについて ...	132
フォルダーとMP3およびWMAファイルについて ...	132
MP3とは？ .....	133
再生できるMP3ファイルについて .....	133
WMAとは？ .....	133
再生できるWMAファイルについて .....	133
地上デジタルテレビジョン放送について ....	134
言語コード表 .....	137
DVD用語の解説 .....	138
MP3、WMA用語の解説 .....	139
故障かな？と思ったら .....	140
共通項目 .....	140
モニター、内蔵スピーカー、FMトランスミッター、 バックカメラ（AVIC-XH900） .....	142
テレビ（AVIC-XH900） .....	143
DVD .....	143
CD/MP3ディスク .....	145
WMA/MP3ファイル .....	145
ミュージックサーバー .....	146
こんなメッセージが表示されたら .....	147
共通項目 .....	147
DVD/CD/WMA/MP3ディスク .....	147
ミュージックサーバー .....	148
索引 .....	149
メニュー索引 .....	149
用語索引 .....	150
五十音順 .....	150
アルファベット順 .....	151

# MP3ファイル、WMAファイルについて

## フォルダーとMP3およびWMAファイルについて

MP3およびWMAファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。

(ルートディレクトリ)



本機はMP3およびWMAファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です(P139)本機はマルチセッション(P139)方式で記録したディスクの再生に対応しています。パケットライト(P139)には対応していません。m3u(P139)のプレイリストには対応していません。MP3(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.mp3、.wma)を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。

拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てすることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3およびWMAファイルと、音楽データ(CD-DA)が混在しているときは、MP3およびWMAファイルと、音楽データ(CD-DA)を切り替えることができます。MP3およびWMAファイルと、音楽データ(CD-DA)を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- MP3およびWMAファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- 8階層までのMP3およびWMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

## MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### 再生できるMP3ファイルについて



- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。  
例：01abcdef.mp3
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

ID3 TagのVer1.0およびVer1.1、Ver2.2、Ver2.3のalbum( ディスクタイトルとして表示 ) title( トラックタイトルとして表示 ) artist( アーティストとして表示 ) genre( ジャンルとして表示 ) year( 発売年として表示 )の表示に対応しています。

32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzです。

一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps、MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

## WMAとは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。



- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

### 再生できるWMAファイルについて



- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7、Ver.8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は48、64、80、96、128、160、192kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

はじめに

基本操作

AVCHD  
レコー

音楽ファイル

DVD

ミュージック  
サバ

システム設定

その他の機能

付録

# 地上デジタルテレビジョン放送について

## 地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行スケジュールについて

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

## 地上デジタルテレビジョン放送開始に伴う放送チャンネル変更について

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴い、一部の地域では地上アナログテレビジョン放送のチャンネルが順次変更されております。

当変更の詳細につきましては、総務省関連サイト等（下記）、各地域受信対策センターからの広報等をご参照願います。

## 総務省関連サイト

地上デジタルテレビジョン放送	<a href="http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html">http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html</a>
関東総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.kanto-bt.go.jp/">http://www.kanto-bt.go.jp/</a>
東海総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/">http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/</a>
近畿総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.ktab.go.jp/">http://www.ktab.go.jp/</a>
報道資料 アナログ周波数変更の受信対策の開始について	<a href="http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html">http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html</a>
ARIB(電波産業会)サイト	<a href="http://www.arib.or.jp/">http://www.arib.or.jp/</a>
JEITA(電子情報技術産業協会)サイト	<a href="http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm">http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm</a>

## 地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更についてのお問い合わせ先

対象となる各地域の受信対策センターにご確認ください( P136)。

## 地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更に伴い、発生が予想される現象

地上アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、プリセットされたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度、お手持ちの取扱説明書に従い、プリセットの再設定をお願いいたします。

放送局名を表示する機能がある機種においては、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。また、音声操作により選局する機能がある機種においても、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

地上デジタルテレビジョン放送が開始されても、本機で受信することはできません。

はじめに

基本操作

テレビ  
AVCHD

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## アナログテレビチャンネル変更対策 各地域受信対策センター（2003年4月現在）

名称	コールセンター	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL : 0120-771797 FAX : 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 029-835-8267	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
栃木地域受信対策センター	TEL : 0120-401293 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
群馬地域受信対策センター	TEL : 0120-357488 FAX : 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 027-210-9381	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
埼玉地域受信対策センター	TEL : 0120-401035 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
千葉地域受信対策センター	TEL : 0120-401398 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL : 0120-401350 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
岐阜地域受信対策センター	TEL : 0120-124820 FAX : 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7300	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
愛知・三重地域受信対策センター	TEL : 0120-124826 FAX : 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7370	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL : 0120-252639 FAX : 0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 075-602-1826	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL : 0120-623522 FAX : 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7182	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
兵庫地域受信対策センター	TEL : 0120-540700 FAX : 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7180	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
和歌山地域受信対策センター	TEL : 0120-815108 FAX : 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7184	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日
香川地域受信対策センター	TEL : 0120-112064 FAX : 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 087-851-7880	平日 9:00～21:00 土・日 9:00～18:00 祝祭日



# 言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハラー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
プータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入力コード
グラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入力コード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンダ語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバク語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

はじめに

基本操作

AVEXHoo  
テレビ

音楽ファイル

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# DVD用語の解説

## テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4 : 3、ワイドモニター16 : 9の比率です。

## 視聴制限(パレンタルロック)

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくしたり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

## タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

## チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

## マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

## マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります(最大8言語)。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、“2”です。

# MP3、WMA用語の解説

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ファイル

DVD

ミュージック  
サイバーク

システム設定

その他の機能

付録

## エンファシス

記録・再生系における雑音低減を目的とした固定式イコライザのことです。

## パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追記ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトウェアを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 :

ファイル名は、8.3形式 (半角英大文字と半角数字、"\_"で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下)で、各フォルダの階層は8つ以下

レベル2 :

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、"."と拡張子を含む)で、各フォルダの階層は8つ以下  
拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

## CD-DA

「Compact Disk Digital Audio」の略で、圧縮されていない通常のCDのことです。

## m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u)で、「WINAMP」というソフトウェアで作成したプレイリストに付きます。

## MP3(エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ (MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

## VBR(バイビアー)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## WMA(ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

# 故障かな？と思ったら

## 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

## チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。  
『スタートブック』、「リセットについて」

## それでも直らないときは

『スタートブック』、「お客様登録とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 『スタートブック』
	リモコンを足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。 『スタートブック』
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。 『スタートブック』
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 『スタートブック』
	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。 『スタートブック』
	リモコン設定スイッチが間違っている。	リモコン設定スイッチを正しく切り替えてください。 『スタートブック』

## 共通項目（つづき）

症状	原因	処置
再生できない。	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P15)
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
音が出ない。	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	接続した機器の音量を下げています。	接続した機器の音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。
音や映像がとぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。 『取付説明書』
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	モニターをナビゲーション画面に切り替えてください。 「画面の切り替えかた」(P25)
	本機およびモニターの電源が入っていない。	モニターの電源を入れてください。 正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』

はじめに

基本操作

AVCHD  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サブタイ

システム設定

その他の機能

付録

## モニター、内蔵スピーカー、FMトランスミッター、バックカメラ(AVIC-XH900)

症状	原因	処置
画質調節ができない。	パーキングブレーキレコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい。 映像が暗い。	「黒の濃さ」または「コントラスト」の調節が適切でない。	「黒の濃さ」または「コントラスト」を調節してください。「黒の濃さやコントラストを調節する」(P116)
映像の色が薄い、または濃い。	「色の濃さ」または「色あい」の調節適切でない。	「色の濃さ」または「色あい」を調節してください。「色の濃さや色あいを調節する」(P117)
映像の色合いがおかしい。		
液晶画面が暗い。	「明るさ」の調節が適切でない。	「明るさ」を調節してください。 「液晶画面の明るさを調節する」(P117)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	-
映像がガザガザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	-
内蔵スピーカーからテレビ、VTR(ビデオなど)の音が出ない。 音が小さい。	内蔵スピーカーのソース音声出力がOFFに設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。「ガイド出力を設定する」(P112)
	内蔵スピーカーの音量を下げている。	内蔵スピーカーの音量を上げてください。「音量を調節する」(P26)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 「音声FM付きカーステレオで聞く」(P113)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 FM付きカーステレオの取扱説明書
バックカメラに切り替わらない。	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	AV入力設定のVTR2をバックカメラに設定していない。	AV入力設定のVTR2をバックカメラに設定してください。「バックカメラを使う」(P125)

## テレビ (AVIC-XH900)

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「テレビの放送を受信する」(P28)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「テレビの放送を受信する」(P28)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「手動選局と自動選局について」(P29)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[NAV/AV] で画面を切り替えてください。

## DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[NAV/AV] で画面を切り替えてください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。 「オートプレイを設定する」(P62)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 「視聴制限を設定する」(P61)

## DVD (つづき)

症状	原因	処置
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 「視聴制限を設定する」(P61)
	暗証番号を忘れてしまった。	<b>削除</b> に10回連続でタッチするか <b>録音/削除</b> を10回連続で押し、暗証番号を解除します。 「暗証番号を忘れたときは」(P62)
ディスクメニューが操作できない。	操作が間違っている。	ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。正しい方法で操作してください。「ディスクメニューの操作」(P49)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■を押してから、もう一度再生してください。



## CD/MP3ディスク

症状	原因	処置
音が出ない。	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』
	CDの曇り、またはCDに水滴が付いている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。

## WMA/MP3ファイル

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3ファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3ファイルにしてください。
WMA/MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 WMA/MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいWMA/MP3ファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。

## WMA/MP3ファイル(つづき)

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

## ミュージックサーバー

症状	原因	処置
プレイリストが再生できない。	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 「再生を一時停止する」(P71)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 「CD録音の制限について」(P65)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。『ナビゲーションブック』
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。「タイトル情報を取得する」(P104)

# こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

## 共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。『取付説明書』

## DVD/CD/WMA/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』
再生ができません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P15)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

はじめに

基本操作

AVCHD  
レコー  
ド

音楽ディスク

D  
V  
D

ミ  
ニ  
サ  
ー  
バ  
ー  
ジ  
ッ  
ク

シ  
ス  
テ  
ム  
設  
定

そ  
の  
他  
の  
機  
能

付  
録

## DVD/CD/MP3ディスク（つづき）

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P15)
高温、または低温のため、DVD(CD)が再生できません。ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 『取付説明書』

## ミュージックサーバー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 「プレイリストを消去する」(P97)、 「プレイリストからトラックを消去する」(P101)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーが使用できません。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	ミュージックサーバーの録音・再生のハードウェア/ソフトウェアに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

# 索引

## メニュー索引

DVD	トップメニュー	▶ P49	MSV	グループリスト	▶ P69	システム設定	録音設定	▶ P110
	メニュー	▶ P49		プレイリスト	▶ P69		消音設定	▶ P110
	再生/一時停止	▶ P47		トラックリスト	▶ P69		ワイドモード	▶ P111
	停止	▶ P47		リピート	▶ P72		AV入力設定	▶ P110
	ブックマーク	▶ P53		ダイジェスト	▶ P74		ナビ画面リア映像出力	▶ P111
	次ページ	▶ P48		ランダム	▶ P73		ガイド出力設定	▶ P112
	サーチ/10キー	▶ P51		編集			FMトランスミッター設定	▶ P113
	字幕切替	▶ P54		グループの編集	▶ P90			
	音声切替	▶ P54		プレイリストの編集	▶ P92			
	アングル切替	▶ P55		トラックの編集	▶ P98			
	リターン	▶ P55		タイトルの情報取得	▶ P104			
	前ページ	▶ P48		ヒットチャートプレイ	▶ P76			
	リピート	▶ P56		フィーリングプレイ	▶ P84			
	DVD初期設定	▶ P58		通常再生	▶ P72			
	システム設定	▶ P108		システム設定	▶ P108			
	ビュー	▶ P25		ビュー	▶ P25			
	CD	リピート		▶ P40	テレビ	ユーザープリセット	▶ P30	
スキャン		▶ P41	エリアプリセット	▶ P30				
ランダム		▶ P41	音声多重	▶ P32				
サーチモード		▶ P42	BSSM	▶ P31				
システム設定		▶ P108	リスト大/小	▶ P32				
ビュー		▶ P25	システム設定	▶ P108				
ビュー		▶ P25	ビュー	▶ P25				
VTR	システム設定	▶ P108						
	ビュー	▶ P25						

はじめに

基本操作

AVC/HDD  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

# 用語索引

## 五十音順

### あ行

アーティストグループ	69、86
明るさ	117
アシスト字幕	60
アナログソース録音	68
アングル	55
アングル選択マーク	60
暗証番号	61
色あい	117
色の濃さ	117
エリア	29
エリアプリセット	29、30
エリアプリセット放送局	29
エンファシス	139
オート	65、67
オートプレイ	62
オリジナルグループ	69、86、97
音声言語	59
音声多重放送	32
音量調節	26

### か行

ガイド出力	112
カスタマイズグループ	69、86、89、97
画像	61、95
グループリスト	86、90
黒の濃さ	116
コマ送り	52
コントラスト	116

### さ行

再生順変更	99
サーチモード	42
サブメニュー	23
視聴制限レベル	61
自動選局	29
シネマ	120
字幕言語	54、58
ジャスト	120
主音声	32
手動選局	29
消音設定	110
消去	97、101
詳細情報	71、90、92

情報取得	104
初期設定	58
シングル	65、67
スキャン再生	41、74
スロー	52
ズーム	120
静止画	47、52
操作タッチキー	48、50、52
ソース	24
ソースメニュー	40、56

### た行

ダイジェストスキャン	74
タイトル	47、93、138
タイトル情報	102
チェックリスト	23
チャート情報	81
チャプター	47、50、138
ディスク情報	80
ディスクメニュー	49
テレビ	28、143
テレビアスペクト	60、122、138
トラック追加	100
トラックリスト	69

### な行

ナビ画面リア映像出力	111
ノーマル	120

### は行

パケットライト	139
バックカメラ	125
早送り	38、47、50、70
早戻し	38、47、50、70
パレンタルロック	61、138
ピクチャーインピクチャー	121
ピクチャーサイドピクチャー	121
ヒットチャートプレイ	76
ビットレート	139
ファイナライズ	15
フィーリングプレイ	82
フォルダー	37
副音声	32
ブックマーク	53
プリセットチューニング	29
フル	120
プレイリスト	69、86
プレイリスト詳細情報画面	92

ポーズ/再生 38、71

## ま行

マニュアルモード 67  
 マニュアルプリセット 29、33  
 マルチアングル 55、60、138  
 マルチ音声 54、59、138  
 マルチ字幕 54、58、138  
 マルチセッション 139  
 ミックスCD 43  
 ミュージックサーバー 20、64  
 メニュー言語 59

## や行

ユーザーグループ 69、86、87、97、99  
 ユーザープリセット 29、30、33  
 ユーザープリセット放送局 29、33  
 ユーザープレイリスト 69、86、87、97、99  
 ユニバーサルバード 13

## ら行

ラフサーチ 38、42  
 ランダム再生 41、73  
 リアモニター 9、127  
 リスト操作 23  
 リストの切り替え 32  
 リターン 55  
 リピート再生 40、56、72  
 リビングキット 130  
 リージョン番号 15、16、138  
 連結複製防止システム 43、64  
 録音 65  
 録音時間 66  
 録音設定 66、110  
 録音モード 66

## わ行

ワイド映像 118

## アルファベット順

### A

AV入力設定 110  
 AVメニュー 22、31、40、56、72

### B

BSSM 13、31

### C

CCCD 15  
 CD 15、17、65  
 CD-DA 139  
 CF型メモリーカード 95  
 CHAPTER REPEAT 56  
 CINEMA 120

### D

DDCD 16  
 DIGEST 74  
 DISC REPEAT 40、56

### F

FMトランスミッター 109、113  
 FOLDER REPEAT 40  
 FULL 120

### G

Gracenote CDDB 103  
 GROUP REPEAT 40、72

### I

ID3 Tag 37、139  
 ISO 9660フォーマット 139

### J

Joliet 139  
 JPEG 95  
 JUST 120

### M

m3u 132、139  
 MP3 18、37、139  
 MP3ファイル 133

### N

NORMAL 120

### P

P in P 121  
 PLAYLIST REPEAT 72  
 P side P 121

### R

RANDOM 41、73  
 REPEAT 40、56、72  
 Romeo 139

### S

SCAN 42  
 SCMS 43、64

### T

TITLE REPEAT 56  
 TRACK REPEAT 40、72

はじめに

基本操作

AVメニュー  
テレビ

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

システム設定

その他の機能

付録

## V

VBR	139
VTR	24、123

## W

WMA	18、40、133、139
WMAファイル	132、133

## Z

ZOOM	120
------	-----





この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

#### ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからのご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

### 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション商品の

お問い合わせおよびカタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**  
: 【一般電話】 **03-5496-8016**  
ファックス受付 : ☎ **03-3490-5718**

### 部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

#### 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**  
: 【一般電話】 **0538-43-1161**  
ファックス : ☎ **0120-5-81096**

### 修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

#### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**  
: 【一般電話】 **03-5496-2023**  
ファックス : ☎ **0120-5-81029**

#### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**  
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

< KKNFF > < 04E00000 > < CRA3640-A >